

競技者登録管理システムマニュアル

Japan Swimming Federation
SWMSYS/WIN



財団法人 日本水泳連盟

はじめに



本マニュアルは、(財)日本水泳連盟において競技者登録及び、競技会(大会)の円滑な活動を支援することを目的として構築(開発)されたシステム「**SWMSYS/Win**」の操作説明書として作成されたものです。

現在、水泳競技に従事される担当者には、本システム開発の目的である運営活動の活性化に向けた1ツール(道具)として、ご活用下さいますようお願いいたします。

このマニュアルは登録と大会エントリーについて記述致します。

従いましてそれ以外の操作につきましてはヘルプ等を参照にご使用いただきますようお願いいたします。

目 次

1	インストール	
1.1	システムインストール(セットアップ)手順	4.
1.2	システム起動	8.
1.3	システムの終了	9.
1.4	画面項目説明	10.
1.5	メニューボタンの説明	11.
1.6	基本機能画面の説明	12.
1.7	旧DOS版SWMSYSデータの取込み	14.
2	登録操作手順	
2.1	団体登録	19.
2.2	団体登録操作手順	22.
2.3	競技者登録	26.
2.4	競技者登録操作手順	30.
2.5	提出データ作成手順	31.
3	競技会エントリー	
3.1	競技会エントリーの前提条件	35.
3.2	エントリー方法	35.
3.3	提出データ作成手順	41.

4	印刷処理機能	-----	46.
5	年度異動処理	-----	47.
6	日本水泳連盟7桁ID登録番号の取込み操作手順	-----	48.
7	バックアップ	-----	49.
8	復元	-----	49.

1 インストール

1.1 システムインストール(セットアップ)手順

インストールとは、システムをパソコン上にコピーして、ソフトウェアが動作可能な状態に環境を整える操作(作業)のことです。

ここでは、競技者登録管理システム「SWMSYS / Win」をインストールする操作手順について説明してあります。

(1)CD のセット

競技者登録管理システム「SWMSYS/ Win」のソフトウェアCDをドライブにセットします。

(2)エクスプローラを起動

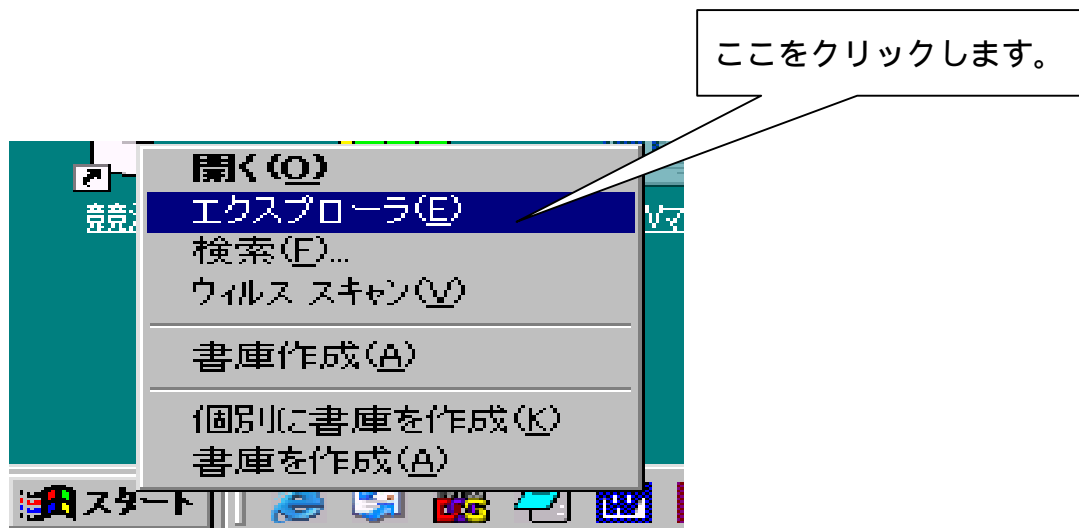
インストール用システム(機能)を起動させるための エクスプローラ を起動します。

Windows スタートボタンを右クリックします。

エクスプローラを選択します。

CDドライブを選択します。

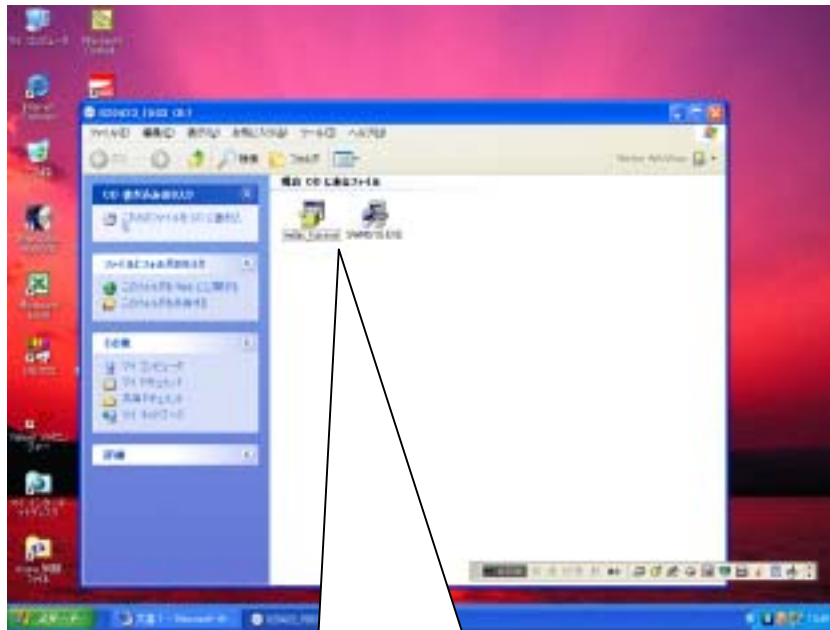
エクスプローラが起動します。(これで CD の内容を見ることができます)



(3)インストール用ソフトウェアを起動

エクスプローラで表示した CD を選択(クリック)します。

- ・ CD の内容が表示されますので、「SWMSYS.EXE」をマウスでクリック又は、ダブルクリックして、インストール用ソフトウェアを起動させます。

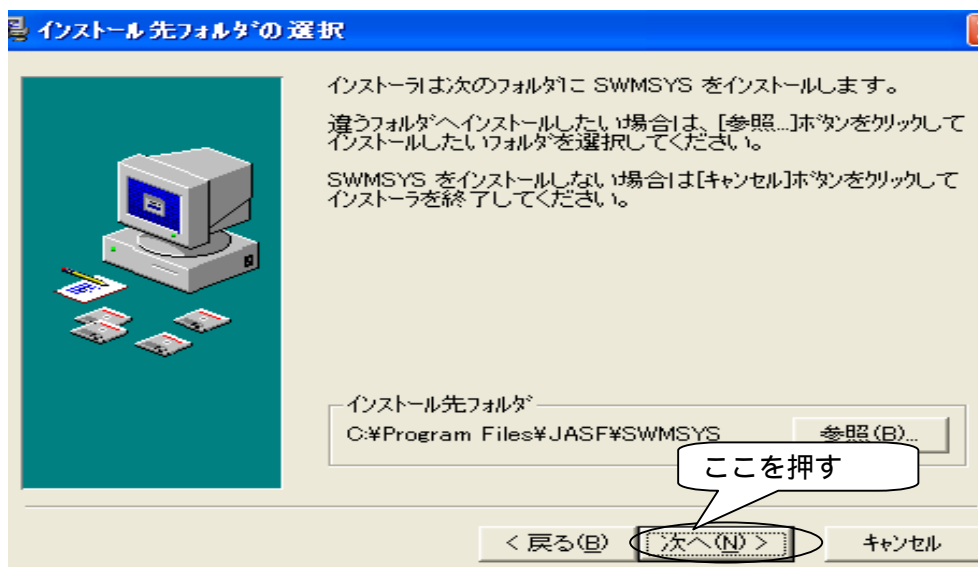
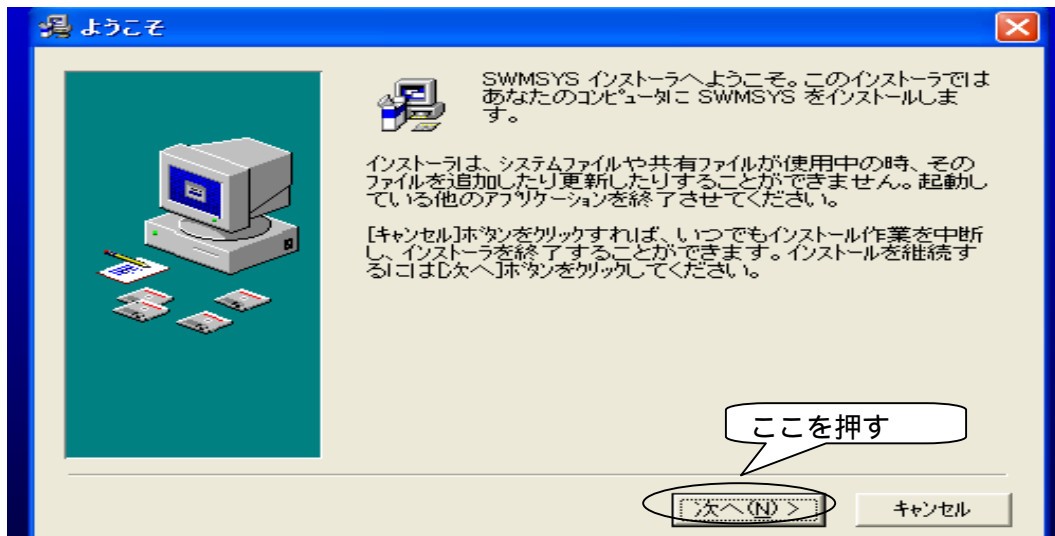


現在 CD にあるファイル



古いタイプの Windows ではうまく作動しない場合があります。その際には「mdac_typ.exe」をインストールしてください。それ以外はインストールしないでください。

クリックすると下のような画面が出ます。「次へ」をクリックします。



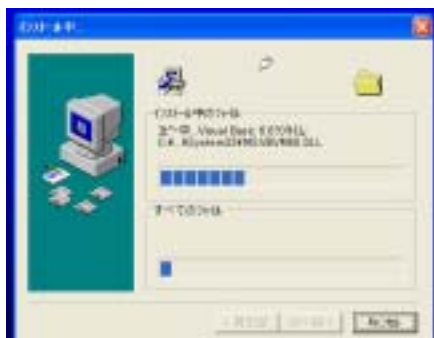
インストールする先のディレクトリ名

SWMSYS/Win システムでは、インストール先のディレクトリを任意にしてあります。したがって、ここで指定したディレクトリ内にシステム SWMSYS/Win は、インストールされますので、インストール先を変更する方は、個別に指定して下さい。

尚、インストールするディスクについては、各パソコン環境が異なることから利用者で任意のディスクを選択して下さい。



「次へ」をクリック

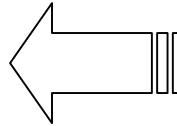


このような流れで通常は変化します。(若干違う場合もあります)

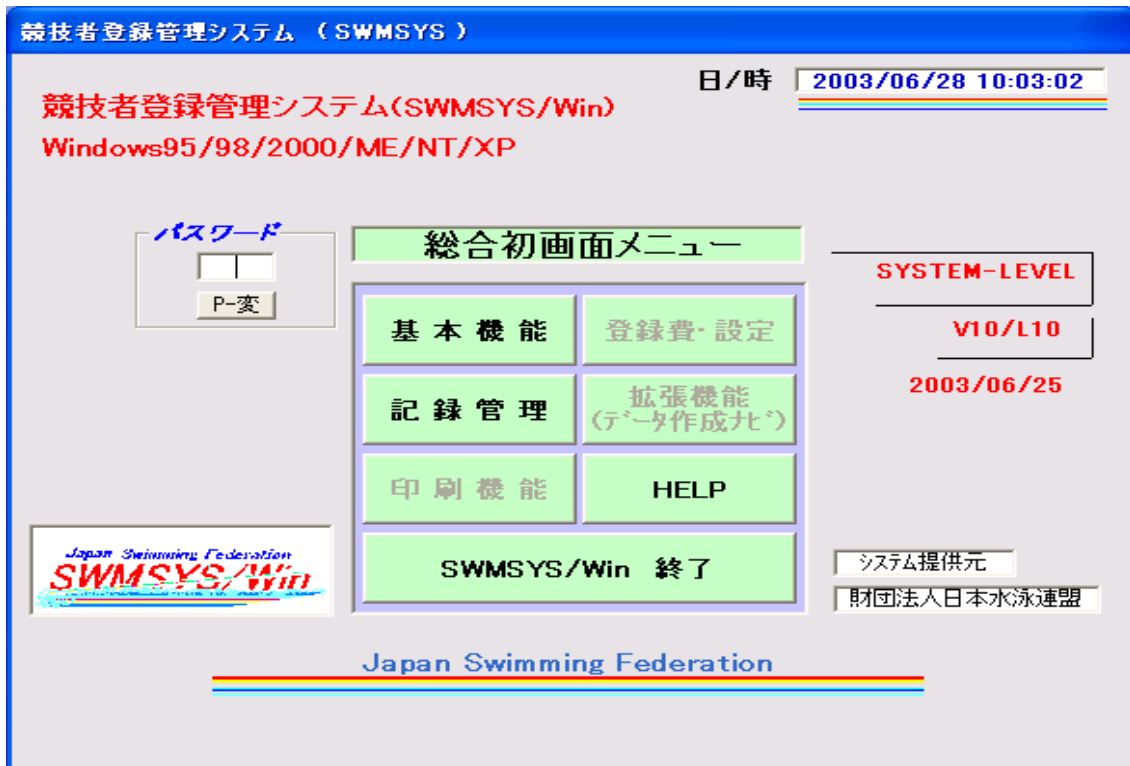
ソフトウェアのインストール作業は完了です。

注意：インストール操作は、システムをパソコン環境上に整える操作です。この操作を行った時点では、競技者等々の情報は一切入っていない状態です。したがって、仮に競技者が入力された状態の環境にシステムを再インストールしてしまうと登録されている競技者の情報が削除されてしまいますので注意して下さい。

1.2 システムの起動



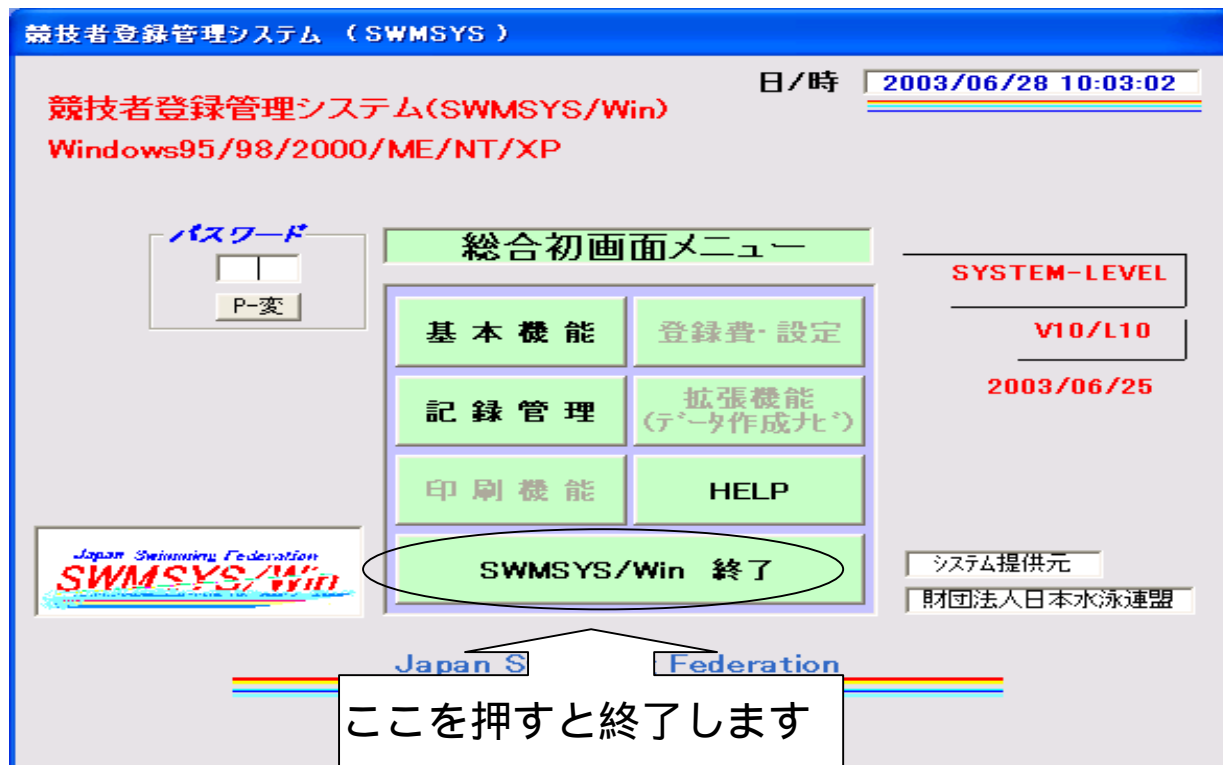
インストールが終了すると画面上に「Swmsys」のアイコンが表示されます。それをクリックすると起動します。



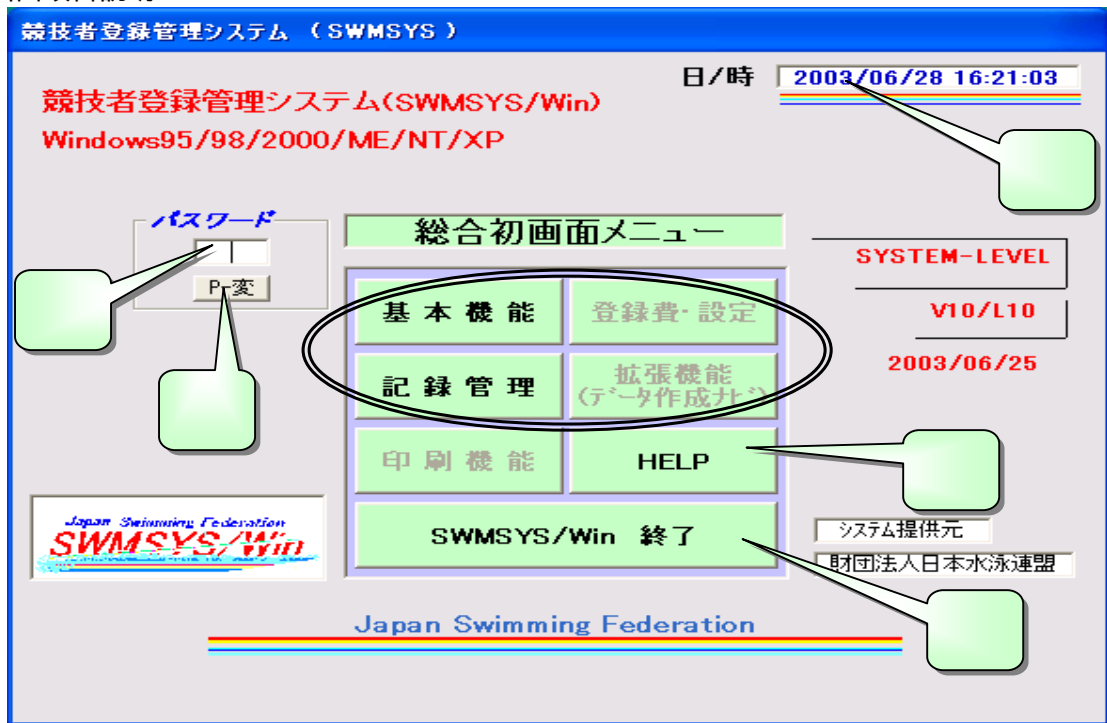
システムが起動すると上のような画面がでできます。インストール後最初に表示される初期画面です。パスワードの変更の後、基本機能を入力完了すると薄表示が使えるようになります。

1.3 システムの終了

SWMSYS/WIN を終了する際は、メニュー画面の[SWMSYS/Win 終了]ボタンを押下(クリック)します。



1.4 画面項目説明



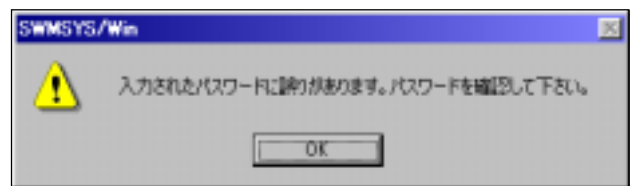
画面右上に表示されている現在の [日付] を確認してください。
 現在の日付は、競技者登録を行う際の学年自動算出（高校生以下）時の基準日として使用されます
 ので、必ず現在の日付が正しいことを確認してください。
 日付が間違っている場合は、一度 SWMSYS/WIN を終了し、日付の設定を行ってから再度
 起動し直してください。

[Password 入力] 欄にパスワードを入力します。
 SWMSYS/Win ではシステム起動時にパスワードの設定が必要となります。
 (インストール直後の初期状態では、'SWMW' と設定されています。)

パスワードの変更を行う場合は、[P 変] ボタンを押下します。

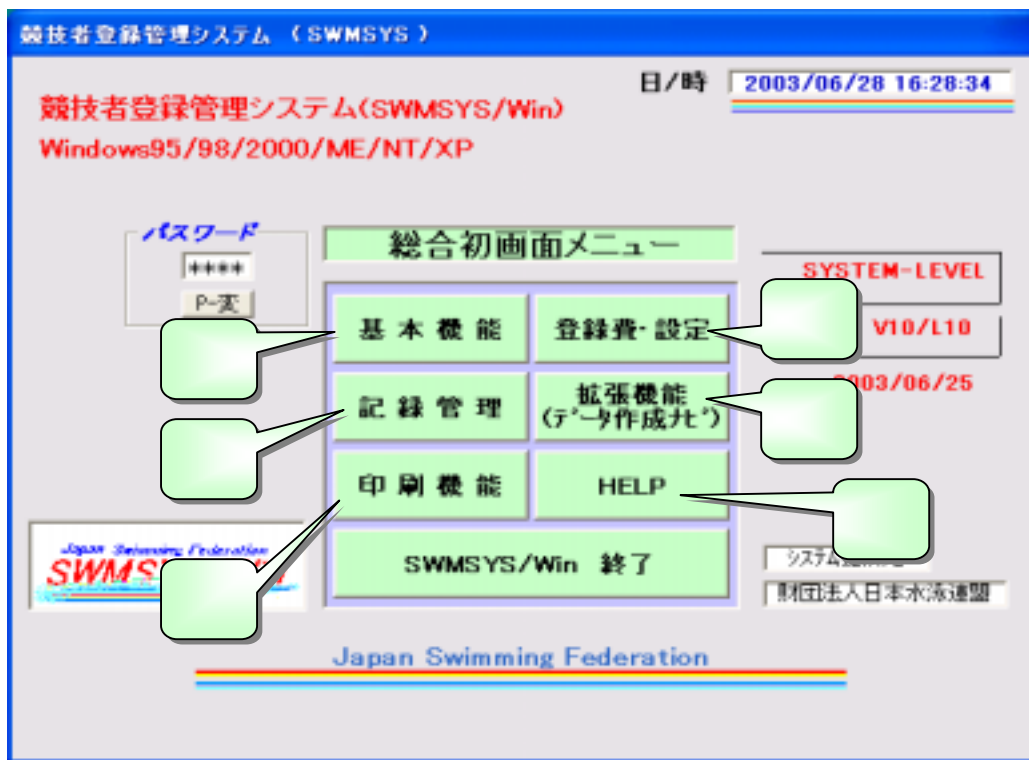
[HELP] ボタンを押下すると、SWMSYS/WIN 内の使用される用語および機能の説明が表示さ
 れます。

画面中央に配置されている各機能名のボタンを押下すると各機能の画面が表示されます。
 パスワードが未入力または入力に誤りがある場合は、このタイミングで以下のエラーメッセージ表
 示されます。再度正しいパスワードを入力し直し、再度機能ボタンを押下してください。



SWMSYS/WIN を終了する際は、[SWMSYS/Win 終了] ボタンを押下します。

1.5 メニューボタンの説明



《メニューから起動する各機能の説明》

基本機能画面へ

団体情報の登録・変更、競技者の登録・変更・削除は当機能を使用します。
記録管理メニュー画面へ

- ・ 大会情報の管理、大会の記録取り込み・入力・検索を行う機能です。

印刷メニュー画面へ

- ・ 各種帳票の印刷を行う機能です。

登録費・設定へ

競技者登録時の団体登録費、個人登録費の入力。大会エントリー費の金額設定を行う機能です。

拡張機能へ

データを作成する手順をナビ形式で行えます。

- ・ 目的別処理（補助機能 1、フローによる競技者登録データの作成機能）
- ・ 種目別大会エントリー機能。
- ・ 簡易競技者登録（競技者登録必須項目の入力・変更）機能。

ヘルプ

- ・ 各機能の説明を表示します。

1. データのバックアップ、リストア処理。学年一括更新処理。氏名一括編集処理。大会エントリー初期化。システム初期化。競技者登録データの作成。エントリーデータの作成。等

1.6 基本機能画面の説明

登録ボタン

システムは、基本操作としてマウスによる操作が基本となります。
各入力項目に情報（データ）を入力後、登録ボタンをマウスでクリックすることで、入力された項目の情報がシステムに登録されます。

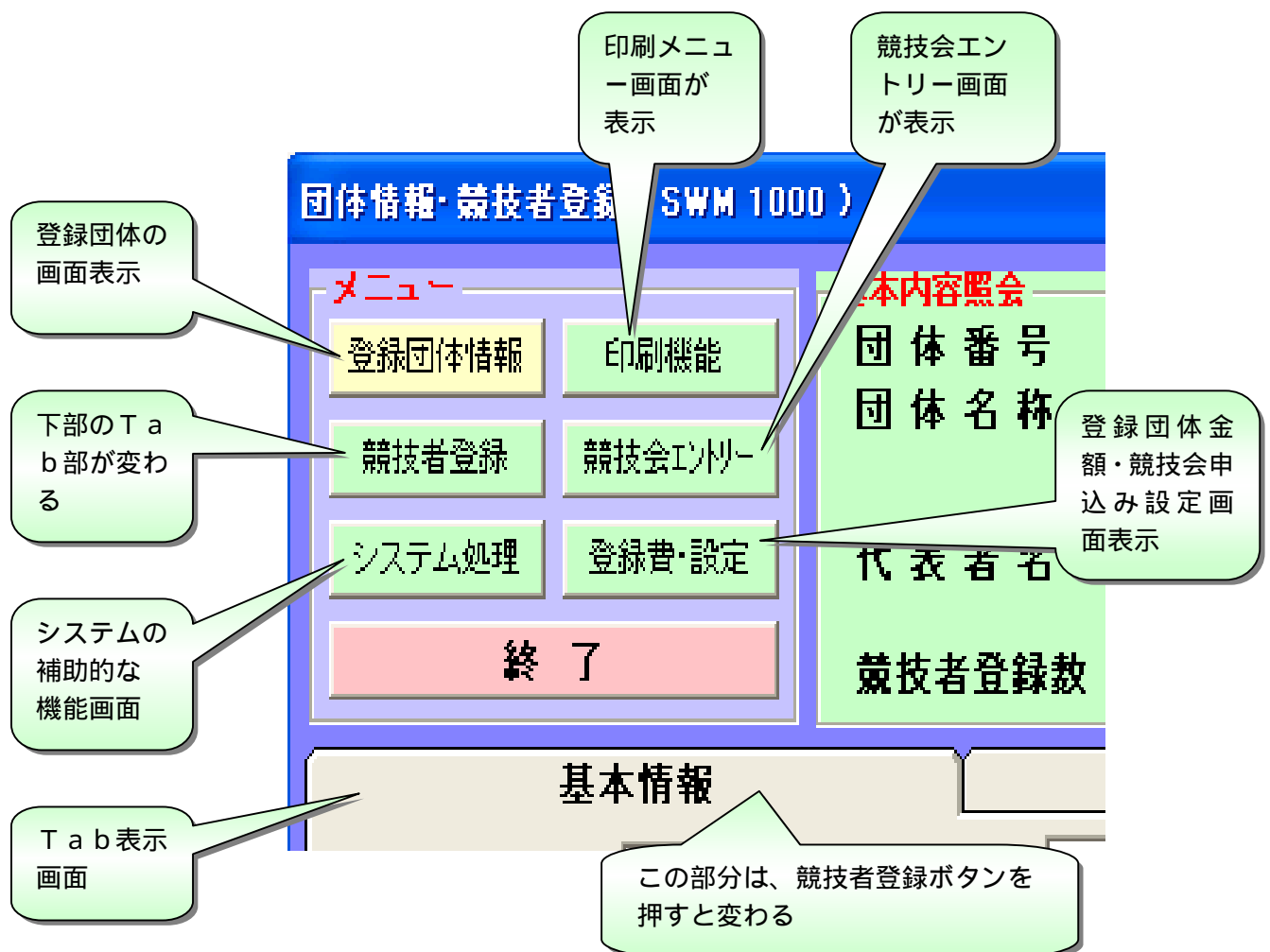
画面遷移

システムが起動すると初画面が表示されます。システム操作は、この初画面を入り口として各処理画面に分岐します。

処理画面への分岐は、基本的に各処理ボタンをクリックすることで、目的とする処理画面が表示されます。

「基本機能」ボタン：初画面の基本機能が押されると表示される画面

- ・ このメニューからも各処理画面を開くことができます。



カーソル異動（タブキー）

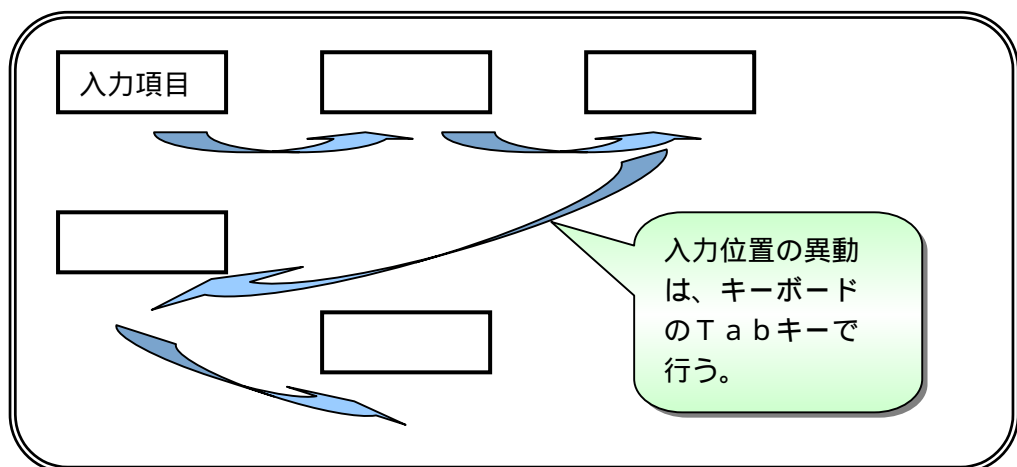
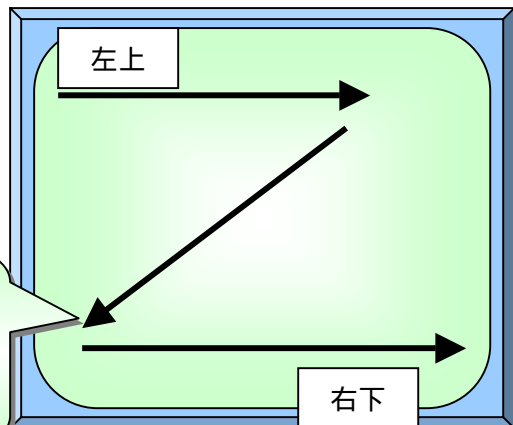
カーソルの異動は、基本的にキーボードの「Tab」キーを押すことで、入力項目を異動することができます。

カーソルの基本的な異動は、画面の左上部から右下部へと異動することを基本としています。
（一部エントリー画面等は操作性により異なる）

カーソルは、基本的に Tab で異動させる。

項目部にカーソルを異動させるには、マウスで直接当ててクリックする。

入力位置の異動は、キーボードの Tab キーで行う。



HELP（補助キー）

システムの操作説明及び、登録団体、競技者登録の説明が表示されます。

終了

現在表示されている（開いている）画面が閉じられて、呼ばれた画面（前に開いていた画面）に戻ります。

1.7 旧DOS版SWMSYSデータの取込み

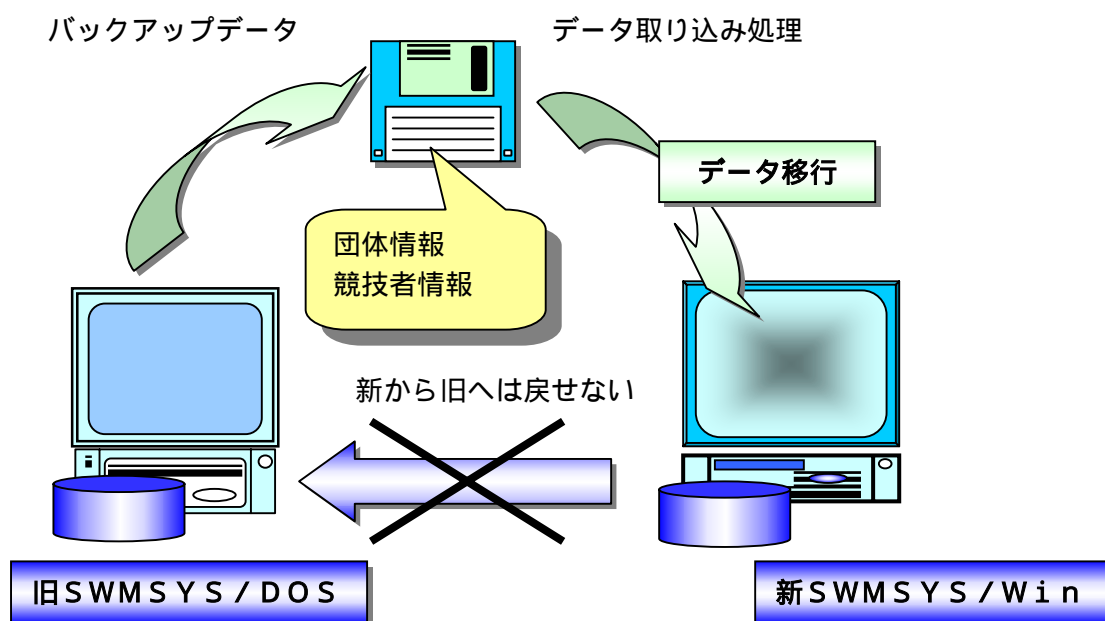
SWMSYS/Winでは、旧SWMSYSからの登録データ移行処置として、情報取り込み機能が提供されています。

この機能は、SWMSYS (MS-DOS版) に登録された登録団体情報&競技者登録情報を新システムSWMSYS/Winシステム内に取り込む処理です。

注意：本機能を使って旧システム 新システムへ登録データを移行することは可能ですが、新システム 旧システムへのデータ移行(戻し)は、できませんのでご注意ください。

[旧SWMSYS 新システムデータ移行]

旧システムから新システムへの登録情報移行は、システムの機能として提供されています。



(1) データ移行操作手順

旧SWMSYSでバックアップされたデータをドライブ等にセット後、セットしたドライブ等を指定して、実行ボタンを押すことで、システムはFDの内容を読み込みデータを新SWMSYSに反映(移入)して行きます。

処理が終わると処理終了のメッセージが出力されて、新システムSWMSYSで、データを扱うことが可能となります。

(2) データ取り込み後の内容確認 & 修正 **「重要事項」**

情報取り込み後の内容確認の手段として、競技者登録情報内容照会画面で、旧データで扱われていたデータと同様の内容であることが確認できます。

但し、情報取り込み機能を使っての処理において、下記の制限が発生しますのでデータ移入後は、登録(取り込み)データの内容を確認後、下記の点について処理して下さい。

競技者氏名

旧SWMSYSの競技者氏名は、システム内のデータセット状態が姓名と同一エリア内にセットされていることから下記の事象が発生します。

これは、旧システムでは、登録された競技者氏名の姓名の区切りがシステムでは認識できないための制限から下記処置が必要となるものです。

例 : a. : 小田原健一 氏名が5文字の例
例 : b. : 鈴木 一郎 氏名が4文字の例

新システムSWMSYSに取り込まれた場合、それぞれ

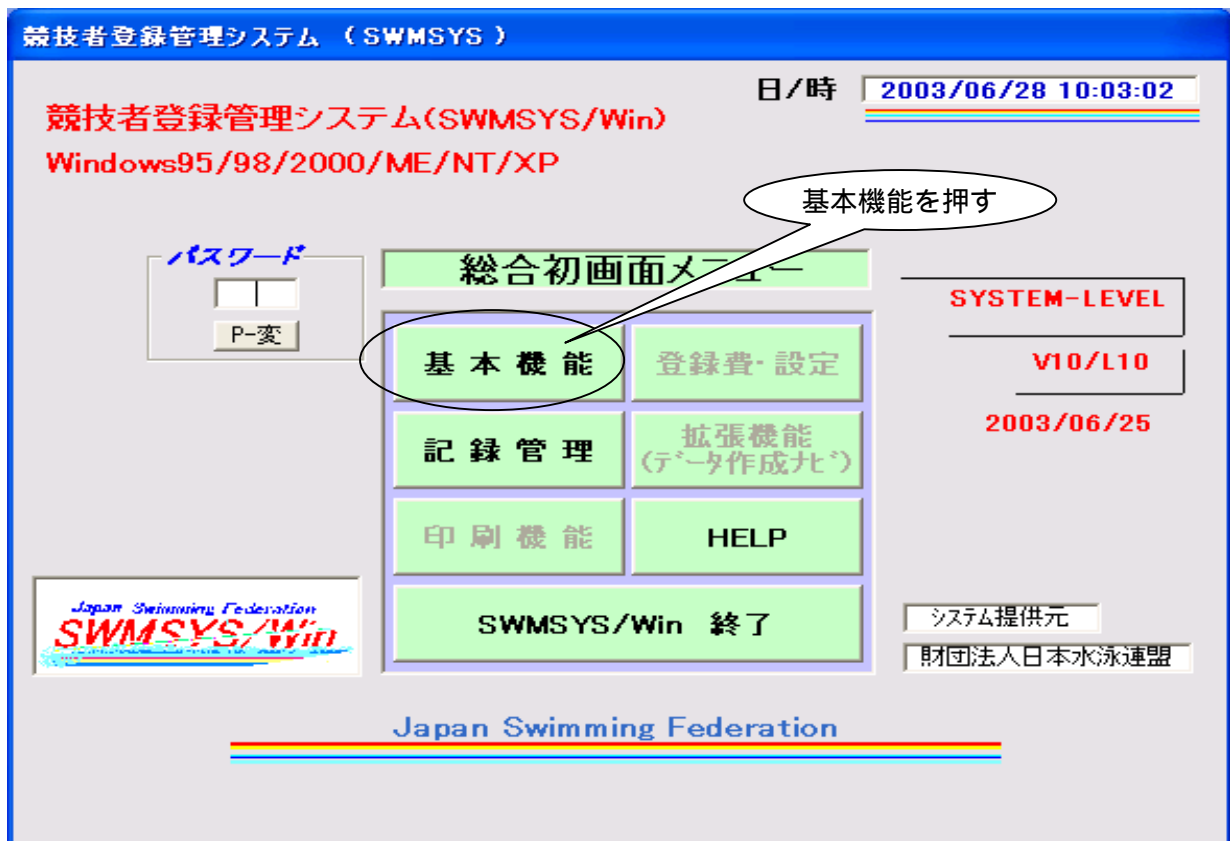
- a. : 姓 = 小田、名 = 原健一
- b. : 姓 = 鈴木、名 = 一郎 で移行される。(システム移行上の制限)

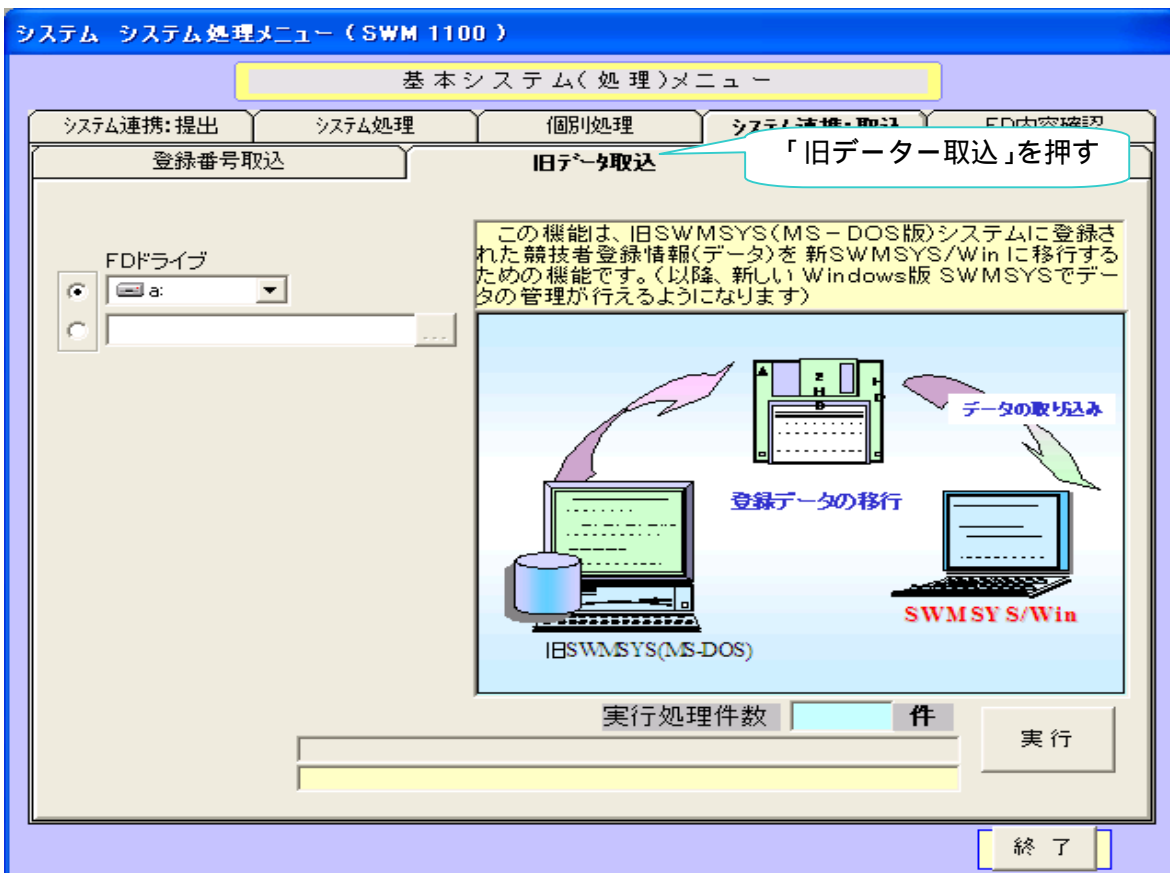
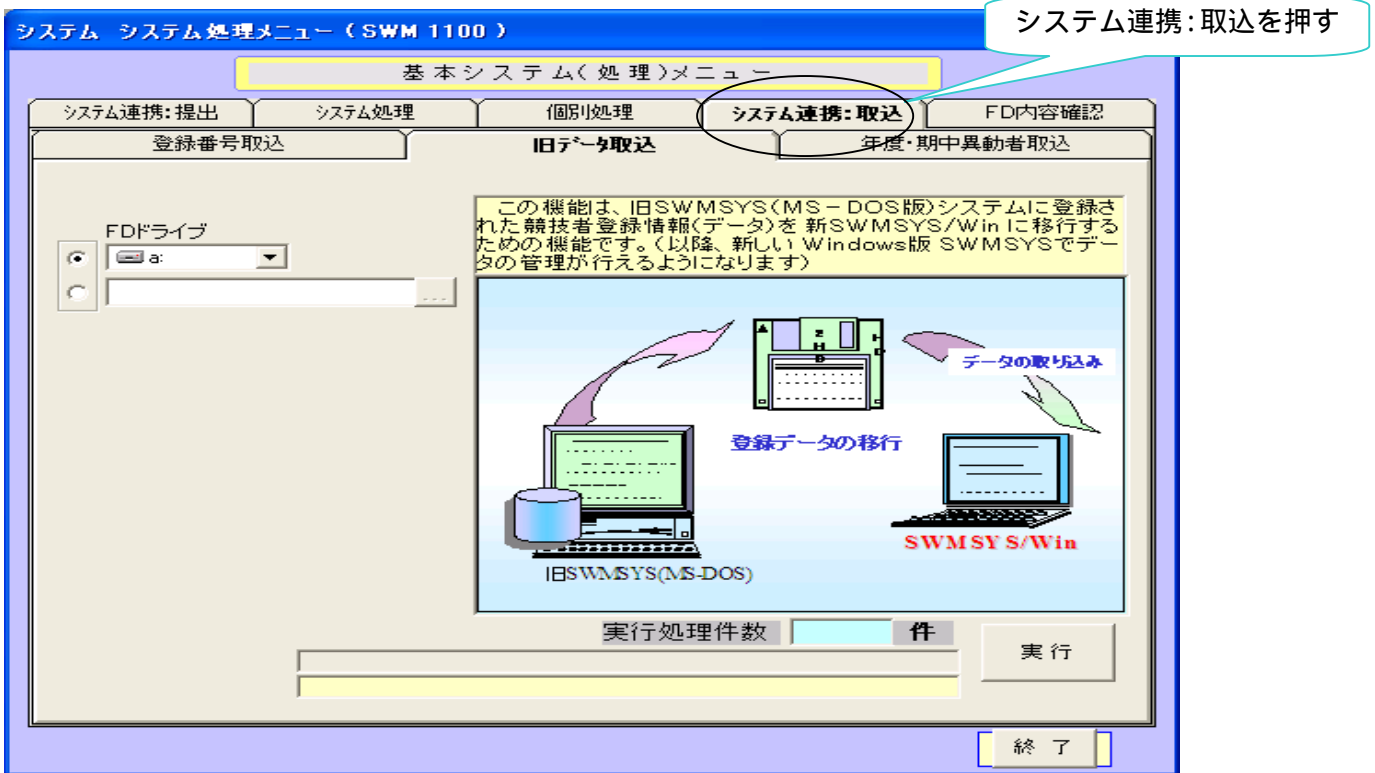
そのため旧システムから新システムへデータを移行した後に氏名を修正する必要があるデータが存在することになります。

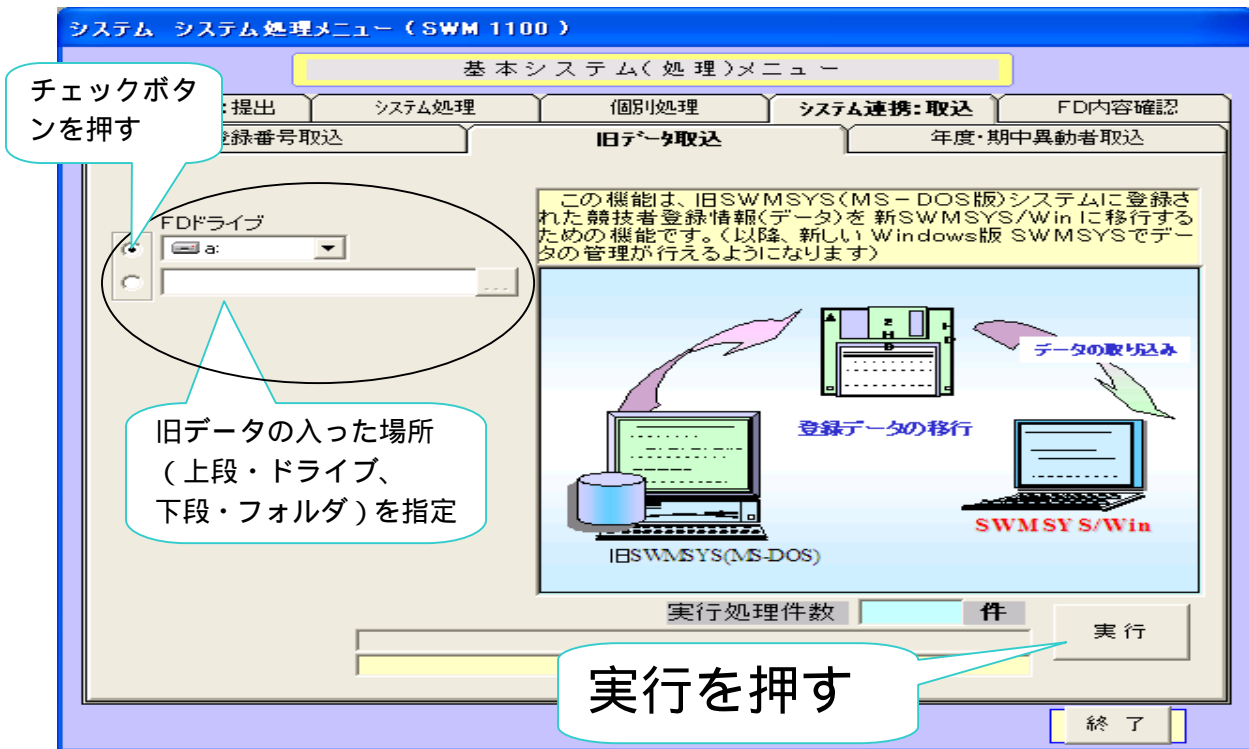
上記のb.のケースの場合修正の必要なし。

システムでは、5文字以上の場合、先頭より2文字を無条件に姓として扱います。

(3) 学年一括更新処理を必ず実施して下さい。**「重要事項」**







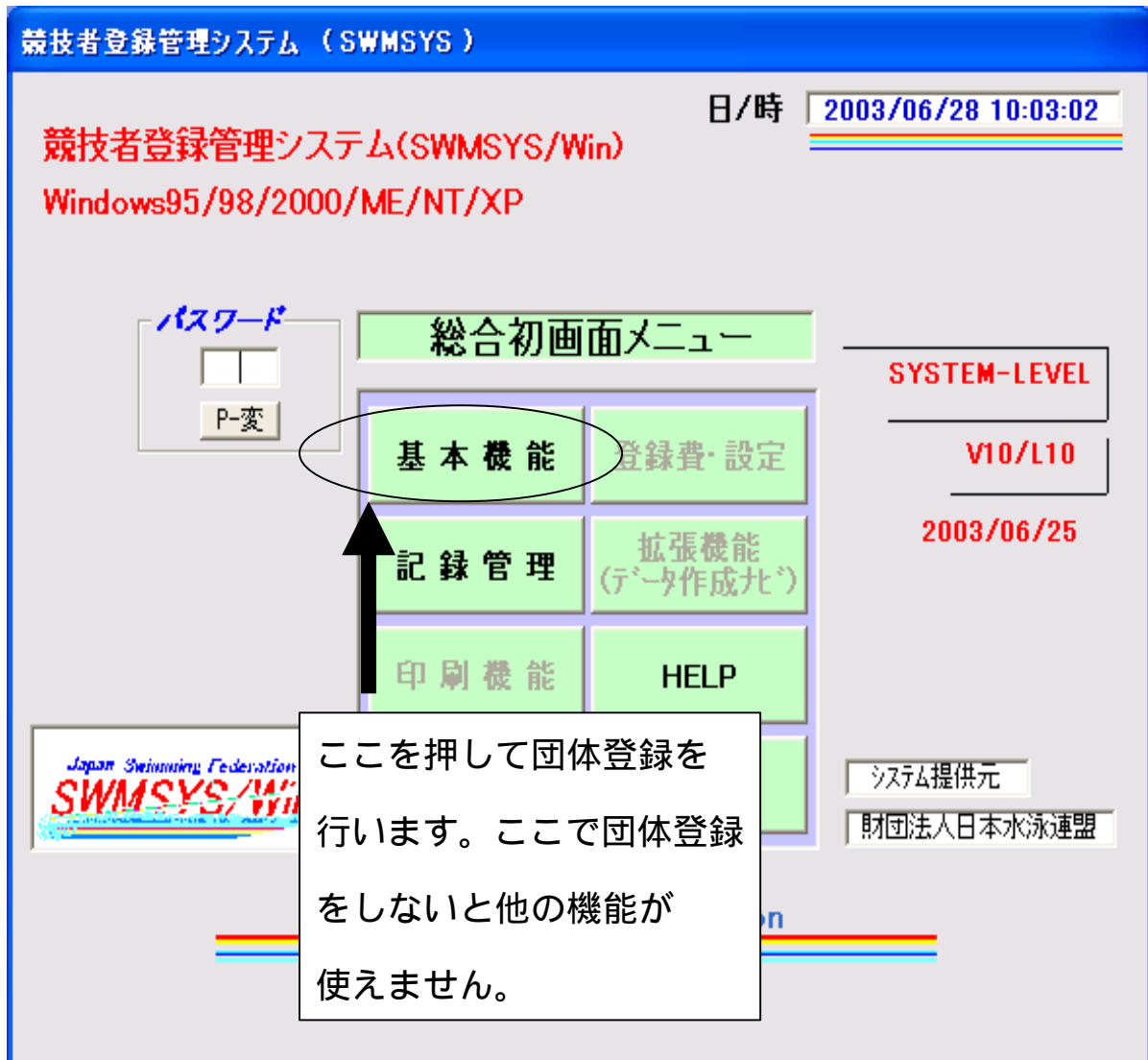
旧データが取り込めました。

注意 一度取り込んでwinのデータとした情報はDOS版のデータには戻すことはできません。

2. 登録操作手順

2.1 団体登録

- (1) システムを立ち上げます。
- (2) 基本機能を押します。



(3) 登録団体情報入力画面

「登録団体情報」ボタンが押された場合に表示される(下部のタブ表示部)画面がこの画面です。

The screenshot shows the '団体情報・競技者登録 (SWM 1000)' screen. A callout points to the '登録団体情報' button in the top left menu. Another callout points to the 'このボタンが押された状態' (button state after press) area, which is the main registration form. The form is divided into sections: '基本内容照会' (Basic Information Inquiry) at the top, '基本情報' (Basic Information), '連絡者情報' (Contact Information), and '処理操作' (Processing Operation). Fields include '団体番号' (Group Number), '団体名称' (Group Name), '代表者名' (Representative Name), '電話番号' (Phone Number), '団体所在地' (Group Location), '広報者氏名' (Publicity Officer Name), and '公認コーチ氏名' (Certified Coach Name). A '団体種別' (Group Type) dropdown menu is also present. Callouts provide details for these fields, such as character limits and input formats.

登録 (情報入力) 操作

画面にある各入力項目について、入力となる規準を記述します。

[登録基本情報]

団体コード

数字 5 桁の登録団体 (チーム) 番号を入力します。(各県内で確定させる番号)

例 : 1 4 1 2 4

先頭 2 桁
後 3 桁

県番号 (加盟団体番号 : 0 1 北海道 ~)
県内登録番号 : 加盟団体で決める番号

団体種別

登録する団体の種別として、学校、SC等を選択します。枠右の を押すと種別がでます。

種別

登録する団体の主とする競技種目「競泳～OWS」までを選択します。

- ・この部分を選択しない場合は、システムは標準を「競泳」として見なします。

登録団体名称

登録する団体の正式名称として、全角20文字以内で入力します。

登録団体カナ

登録する団体の正式名称として、カナ半角で入力します。

略称：12バイト（半角12、全角6文字）

登録する団体名を略名称で、漢字、英数字で入力します。

- ・この部分に入力された名称は、競技会プログラムに使用されます。

代表者

登録する団体の代表者名を入力します。

電話番号

登録する団体の代表者の連絡先電話番号を入力します。

団体所在地

登録する団体の住所を入力します。

月刊水泳送付先・広報者氏名

登録する団体の広報者名を入力します。この部分に入力された者に「月刊水泳」が送付されます。（広報者住所欄が送付先住所として使われる）

これまでは必須事項ですので必ず入力してください。

公認コーチ氏名（任意）

施設指導者の氏名を入力します。

登録番号（任意）

施設指導者の登録番号を入力します。

< 種目別タブ：連絡者情報 >

このタブの部分をクリックすると各競技種目における連絡者の氏名、住所を入力するタブ画面に切り替わりますので、各種目の連絡者となる情報を入力して下さい。

種別を選択（マウスでクリック）して
右部の各項目を入力します。

- ・ 連絡者E-Mailアドレス

- ・ 連絡者氏名
- ・ 連絡者住所
- ・ 連絡者電話番号

2.2 団体登録操作手順

団体登録画面では、団体情報の入力・変更 および 競技者個人の情報入力・変更・削除を行います。

- (1) 下記入力要領に従い、団体情報の入力を行います。
- (2) 登録ボタンを押下し、データの確定（登録）を行います。

〔団体情報 入力要領〕

- 団体コード(必須) : 加盟団体コード(上2桁) + 団体番号(下3桁)を入力します。
 - 団体種別(必須) : 幼児、小学校、中学校、高校、大学、一般、SC、その他 から選択します。
 - 登録団体名称(必須) : 登録団体名称を全角 20 文字以内で入力します。
 - 登録団体フリガナ(必須) : 登録団体名のフリガナを半角カナ 15 文字以内で入力します。
 - 登録団体略称(必須) : 大会プログラム、速報、ランキングに表示する略称を全角6文字以内で入力します。(全角であれば、漢字、カナ、英字、数字の入力が可能です。)
 - 電光表示用略称(必須) : 大会等における電光掲示板表示用の団体名称を半角 8 文字以内で入力します。(半角であれば、カナ、英字、数字での入力が可能です。)
 - 種別(必須) : 登録団体が参加する競技種別(競泳、水球、飛込、シンクロ、日本泳法、OWS)を選択します。(複数の選択が可能です。)
選択を行わず登録を実行した場合は、自動的に「競泳」が選択されます。
 - 代表者(必須) : 団体代表者の氏名、団体所在地、連絡先 情報の入力を行います。
 - 広報者(必須) : 団体広報者の氏名、住所、連絡先情報を入力します。
 - 公認競技役員(任意) : 団体に所属する公認競技役員氏名と、登録番号を入力します。
- 全ての入力が完了したら、登録ボタンを押下し、データの登録を行います。

留意事項、他

情報登録（入力）処理時にシステムでは、下記の内容をチェックして、入力の内容に不備が無ければ、システムへ登録されます。

入力のデータに不備（誤り）がある場合は、システム側から何らかのメッセージが出力されますので、内容にしたがって修正等を行って下さい。

基本チェック仕様

情報入力の対象項目は、基本として全項目が入力対象になります。

- ・但し連絡者情報に限り最低限、1 種目のみ必須とする。

入力項目チェック

各入力項目には、文字列が入力されていることがチェックされます。

基本入力としては、左詰で入力を行って下さい。入力必須項目が全て入力されていることが確認できたらシステムは、登録処理を行います。

連絡者チェック

但し、各住所欄の下部のみは、チェック対象外となっています。

入力制限として、各競技種別の連絡者情報については、最低限1名を必須として入力する必要があり、競技者種別の選択がされた種目の連絡者を入力することとなります。チェックは、入力有無を確認するもので、情報入力が行われていれば、正常とみなされます。

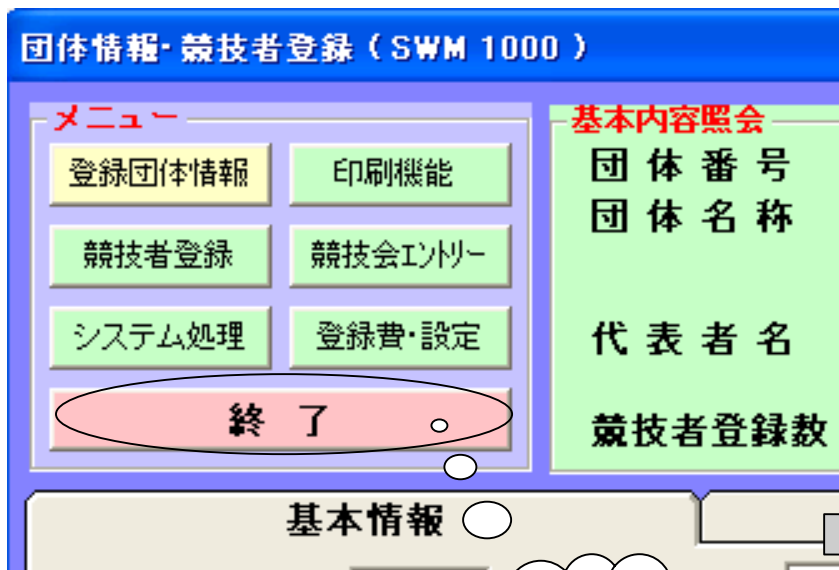
[種目]	[連絡者住所]
<input checked="" type="checkbox"/> 競泳	神奈川県川崎市 1 2 3 - 1 1
<input checked="" type="checkbox"/> 水球	
<input type="checkbox"/> 飛び込み	神奈川県川崎市 × 1 - 2 2
<input type="checkbox"/> シンクロ	
<input type="checkbox"/> 日本泳法	

競泳種目がチェックされているので
 入力は、競泳か水球のいずれかに必要

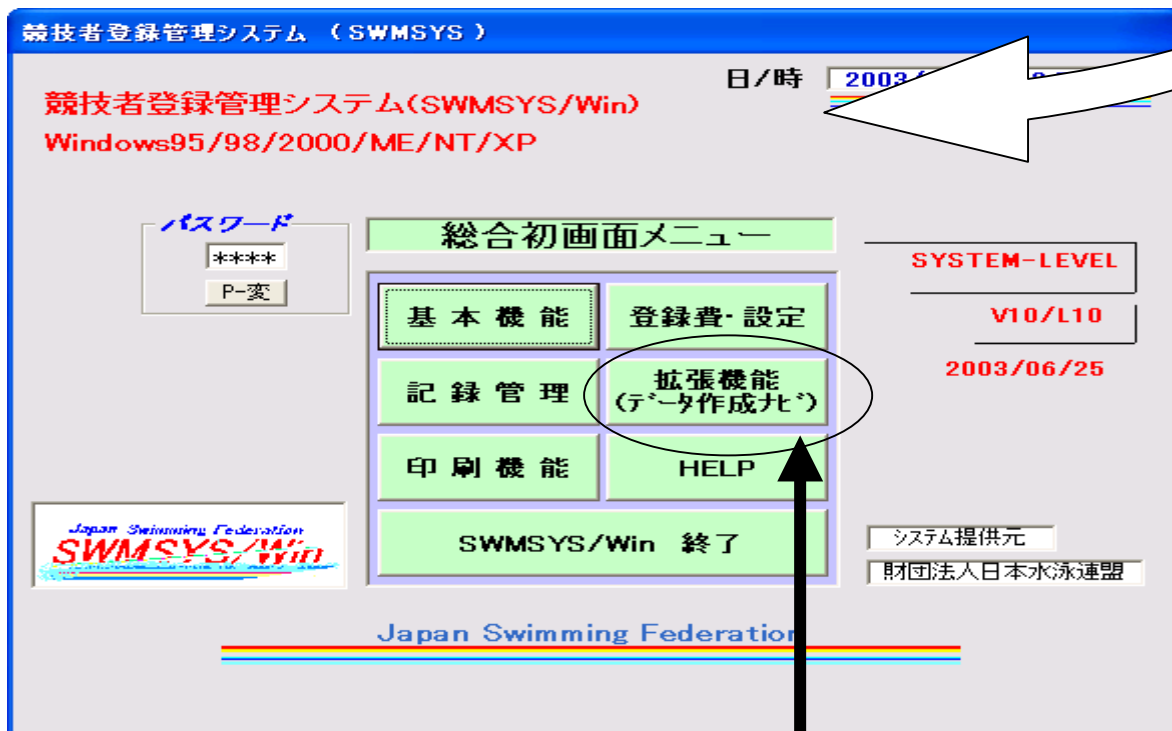
上記の例では、競泳と水球にチェックが行われていることから、情報入力としては、競泳または、水球の種目に対して連絡者の情報入力を行うことが前提となります。

システムでは、この条件をシステムの仕様としてチェックします。したがって、上記の例であれば、競泳種目に対して連絡者住所が入力されていない場合、エラーとして扱われるためシステム側で、メッセージが表示されます。

(3) 団体登録が終わったら一度終了してください



ここを押して一つ前の画面に戻る。



団体登録が完了すると拡張のタグが反転して使えるようになります。以後はこのナビに従って入力作業していくと登録を簡単に行えます。

(4)「拡張機能」を押した後、表示される画面

拡張機能 (SWM 4000)

SWMSYS / Win 拡張機能

目的別処理メニュー

競技者登録関連

- 競技者情報入力
- 入力データ保存
- 学年一括更新
- 入力データ復元
- 氏名一括編集
- エントリー初期化
- 登録費等・設定
- システム初期化

データ作成／連携関連

- 競技者登録FD作成
- 旧→データ取込
- 登録費等・設定
- エントリーFD確認1
- エントリーFD作成
- エントリーFD確認2

種目別競技者選択エントリー

初期～競技者登録データ作成

- 登録団体情報入力 登録団体情報の入力を行う。
- 競技者情報入力 競技者(選手)登録情報の入力を行う。
- 情報をフリマに出力して内容確認
- 登録費等・設定
- エントリー 競技者登録
- 競技会エントリー
- FDの作成処理
- 登録データ作成
- 印刷:登録(入力)内容確認

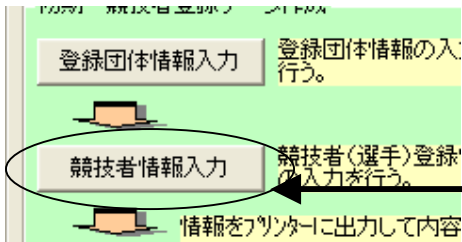
登録関係はこちらのチャートに従って行ってください。

連携データ等をFD(フロッピーディスク)として作成するとき便利です。

競技者登録関係において目的別項目へジャンプするとき便利です。

2.3 競技者登録

「拡張機能」ボタンをクリックして、競技者情報入力を押して競技者登録を行います。



ここを押下すると競技者登録の画面に飛びます。

競技者情報入力操作

競技者の登録情報を基本として管理します。

(1) 入力項目

- ・ 競技者氏名（漢字氏名、カナ氏名）
- ・ 性別
- ・ 生年月日
- ・ 学年
- ・ 学種（1：学童、2：中学、3：高校、4：大学、5：一般、6：その他）
- ・ 勤務先、所属住所
- ・ 競技者達成記録（長水路、短水路、エントリー用）管理
- ・ e-MAIL アドレス
- ・ 身長
- ・ 体重
- ・ 血液型
- ・ 足のサイズ、他

(2) 競技者情報入力画面 (&入力規準)

登録番号

数字7桁の(財)日本水泳連盟発行の競技者登録番号を入力します。
初回登録場合、競技者はこの登録番号を保持しないため7桁の空白にして下さい。
システムは、下記内容のチェックを行います。

- ・ 7桁数字の妥当性チェック
- ・ 7桁入力のチェック
- ・ 数字チェック

旧登録番号

特に内容のチェックは行わない。

- ・ 未入力の場合、全12桁が空白であることをチェック
- ・ 入力されている場合、全12桁が数字であることをチェック

種目

登録団体の選考種目として、6種目中いずれかの種目を選択(チェック)する。

- ・ 省略が可能で、システムは省略時には競泳扱いとする

漢字氏名

氏名を漢字で、(姓:全角4文字以内、名:全角4文字以内)入力します。

- ・ 但し、その他付属情報の国籍・国外をチェックしなくとも入力できる

カナ氏名

氏名をカナで、(姓：半角8文字以内、名：半角8文字以内)入力します。

性別

入力(選択)必須情報で、男女のいずれかを選択します。

生年月日

登録競技者の生年月日を西暦で、(和暦入力不可)入力します。

団体

登録競技者が、他の団体でも登録を行っている場合、他の団体番号4桁を入力します。

システムでは、特に内容のチェックは行わない。

学種

入力必須項目で、ボックスに表示された種別を選択して下さい。

主・副・登録対象外

入力必須項目で、登録の競技者情報は、主、副登録を選択します。

登録対象外がチェックされると(財)日本水泳連盟登録対象外のデータとしてシステムは扱うため登録用FDにデータは書き出されません。

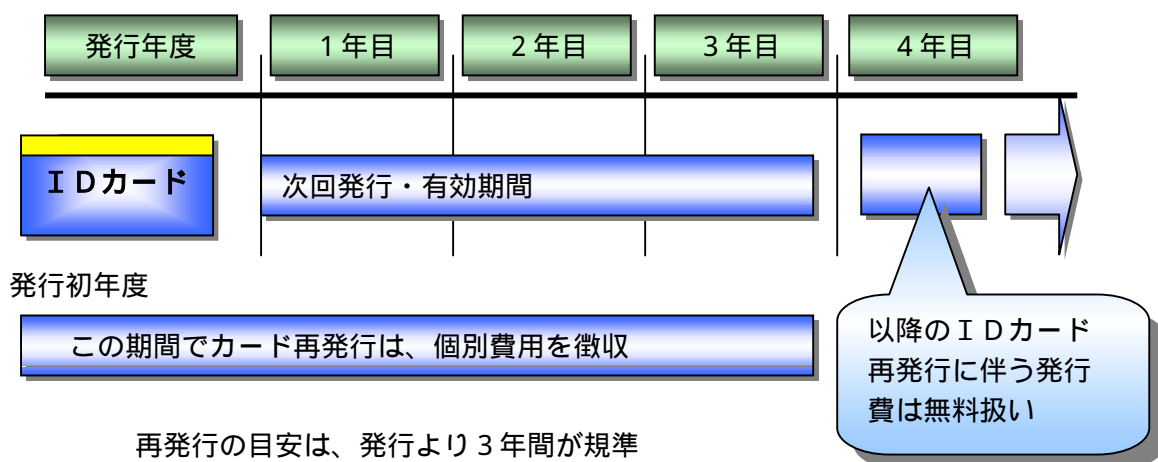
- ・主登録：競技者登録費用計算の対象データとして扱う
- ・副登録：主登録がされていることが前提で、登録費用の対象外として扱われる

IDカード発行指示

- ・IDカード発行規準

発行より3年目以降にIDカードを発行する場合、IDカード発行指示にチェックを付けて、情報の登録を行う。

3年以内(有料扱い)でのIDカード発行指示を行っても問題はありません。



期中異動

他チームより移籍（転入）した者は必須事項を入力後にチェックをつけます。

Password 入力

登録競技者に付加される、セキュリティ情報として Password の入力を行います。

・この情報は、IDカード作成時に磁気の部分に Password 情報として反映される

登録ボタン *一人一人の競技者の登録ごとにボタンを押す。

このボタンが押されるとシステムは、入力情報のチェックを行い、入力された情報（データ）に誤りがなければ、システムに登録されます。

削除ボタン

登録された競技者情報が選択されるボタンは有効になり、画面に表示された情報が削除の対象となります。

HELP ボタン

HELP をオープンするための HELP メニュー画面が表示されます。

終了ボタン

登録画面が閉じられます。

(3) その他 留意事項

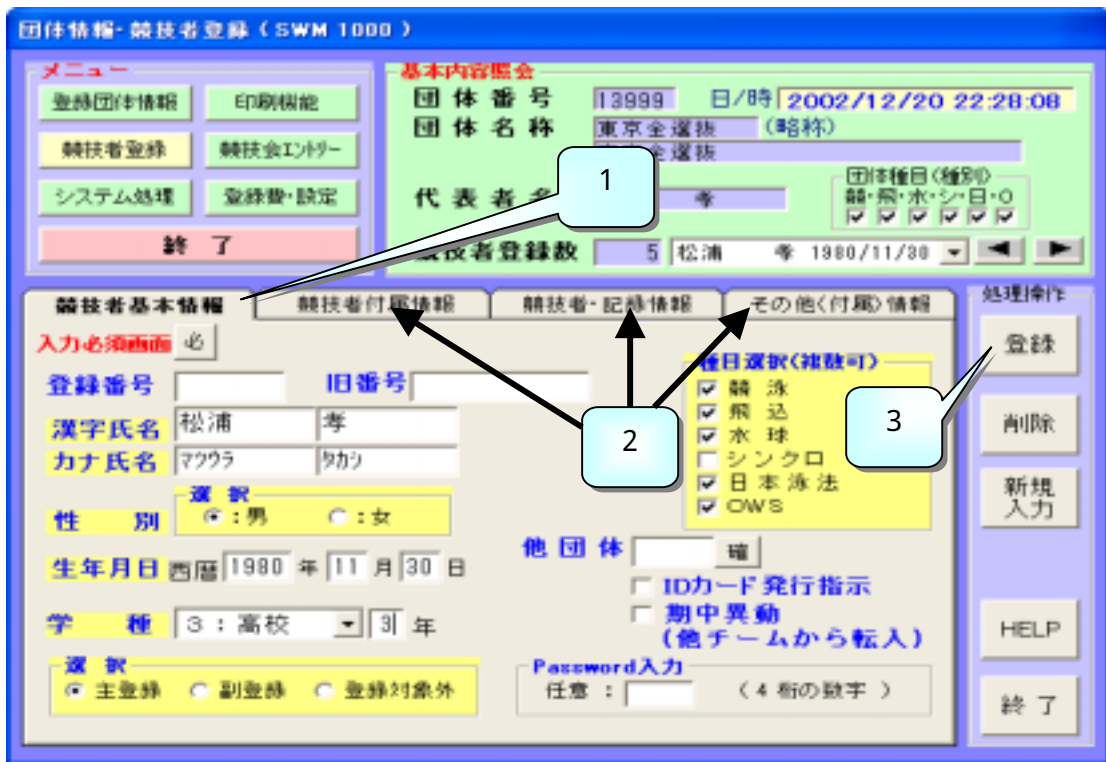
団体登録のみの場合、競技者基本情報にて **漢字氏名** と **カナ氏名** に数字 1（ダミー）を入力してください。

なお、**生年月日**は「 _____ 年 _____ 月 _____ 日」必ず入力

* 金額計算より除くため、副登録にしてください。

* データは SCMSYS 取り込み時に削除されます。

2.4 競技者登録操作手順



- (1) 下記入力要領に従って、競技者情報の入力を行います。
- (2) その他(競技者付属情報、競技者・記録情報、その他(付属)情報)タブの入力を行います。(任意)
- (3) 入力が完了したら、登録ボタンを押下し、データの確定(登録)を行います。

(競技者 基本情報 入力要領)

- 登録番号(取込み項目) : 競技者の登録番号(7桁)を入力します。
- 旧登録番号(任意) : 団体コード(5桁) + 生年月日(6桁) + 性別(1桁)。
- 漢字氏名(必須) : 氏名を全角10文字(姓:5桁、名:5桁)以内で入力します。
外国籍競技者の場合、半角カナ英字で入力します。
- カナ氏名(必須) : 競技者名のフリガナを半角カナ15文字以内で入力します。
- 性別(必須) : 競技者の性別を選択してください。
- 生年月日(必須) : 競技者の生年月日を西暦で入力する。
- 学種・学年(必須) : 競技者の学種を選択し、学年を入力する。
高校生までは、生年月日入力時に自動計算されます。

種目(必須)	:	登録団体が参加する競技種別(競泳、水球、飛込、シンクロ、日本泳法、OWS)選択します。(複数の選択が可能です。)選択を行わず登録を実行した場合は、自動的に'競泳'が選択されます。
他団体(任意)	:	主登録または副登録している団体の団体番号を入力する。
確認指示(任意)	:	IDカードの発行を依頼する場合、チェック(レ点)を付けます。
登録区分(必須)	:	主登録、副登録、登録対象外のいずれかにチェックを付けます。
終了		

2.5 提出データ作成手順

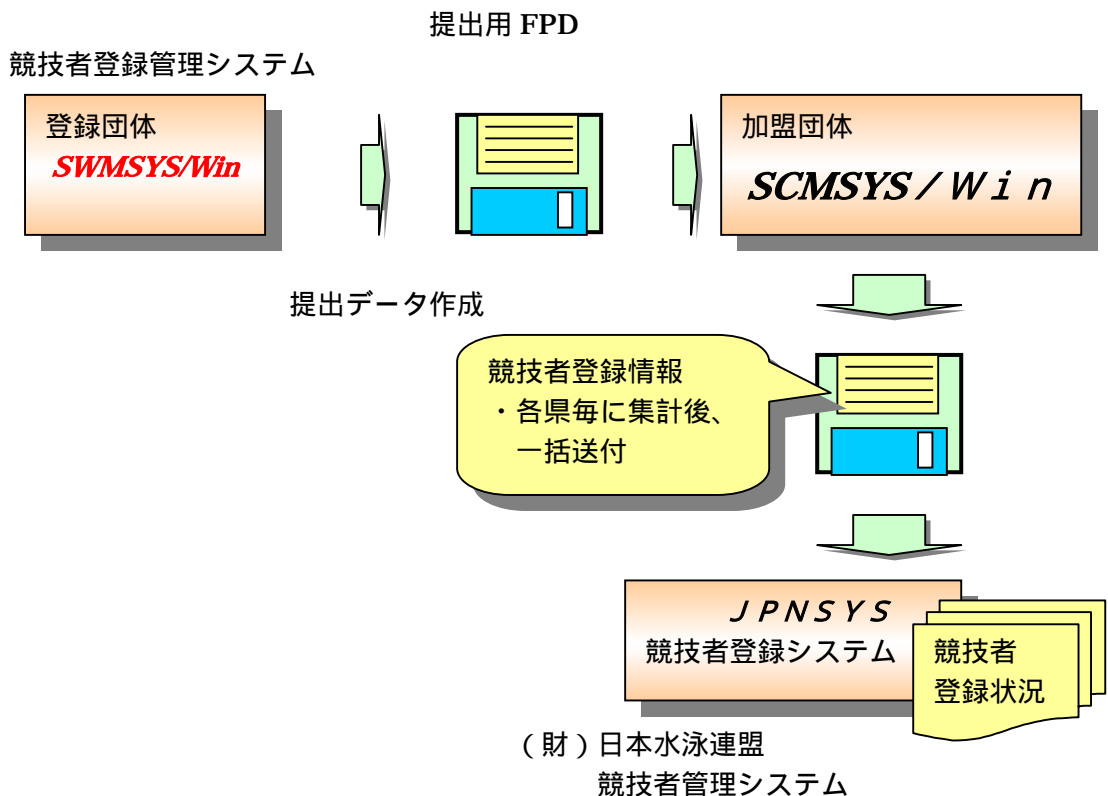
SWMSYS/Winでは、旧SWMSYS同様に競技者情報登録用として扱われるデータの作成を行うことができます。

基本機能として、下記の機能が備わっています。

・競技者登録データ作成

この機能は、年間登録更新対象となる競技者データを登録データとして作成するもので、基本的には、1回/年行われる(内容変更があれば複数必要)処理です。データの内容は、各加盟団体向けに提出用として作成される競技者登録データです。

[データ連携概要図]



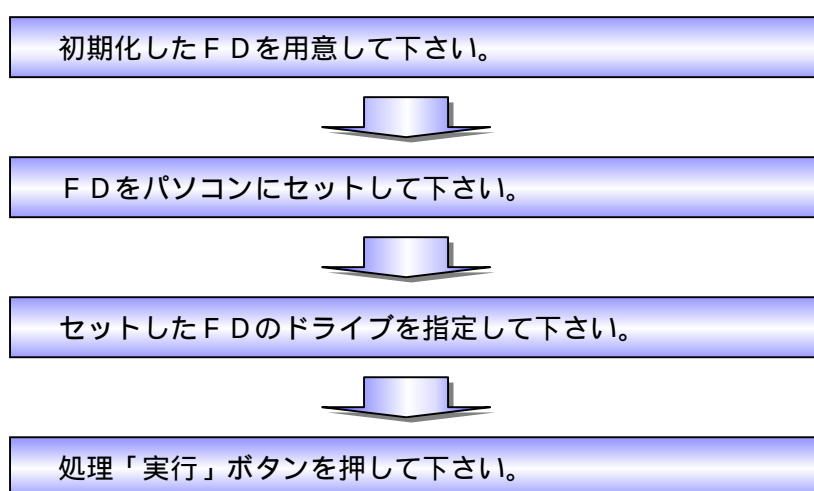
ここでは、各チーム（登録団体）毎に入力された登録団体情報及び、競技者情報を（財）日本水泳連盟へ登録処理を行うためのデータ作成手順について記述しています。

SWMSYS/Winで作成された情報（データ）は、そのまま競技者登録データとして（財）日本水泳連盟競技者登録システム「JPN SYS」に登録（コンピュータ）処理されます。

（１）競技者登録データ作成処理の流れ

SWMSYS/Winでの競技者登録データ作成操作は非常に簡単で、下記の操作手順で行うことで、提出用FDの作成を行うことができます。

競技者登録データ作成操作手順



FD作成処理は完了です。

SWMSYS/Win版には、この作成されたFDの内容を確認できる機能が提供されていますので、FD作成後はデータの内容を確認して下さい。

(2) 登録費・設定

基本機能(団体情報・競技者登録:SWM1000)画面から「登録費・設定」ボタンを押下し、下記画面より必要事項を入力し登録設定を押下します。

(3) 競技者登録データ作成手順

「システム連携：提出」タブ - 「登録データ作成」タブをクリックします。

フロッピーディスク(FD)をドライブに挿入し、出力先ドライブ名を指定します。

今回競技者登録を行う選手を左の一覧から選択します。(左の一覧から右の一覧へ)条件指定機能を使用し、「未提出分」、「前回提出分」、「前回+未提出」、「全て」のいずれかの条件から競技者を選択します。

登録に追加したい場合は、1名 ▶ 全て ▶▶ ボタンを使用し、右の一覧に対象競技者を追加します。

登録から削除する場合は、1名 ◀ 全て ◀◀ ボタンを使用し、右の一覧から競技者を削除します。

「期中異動」ボタンを押下すると、他チームへ異動登録提出用データがFD内に出力されます。

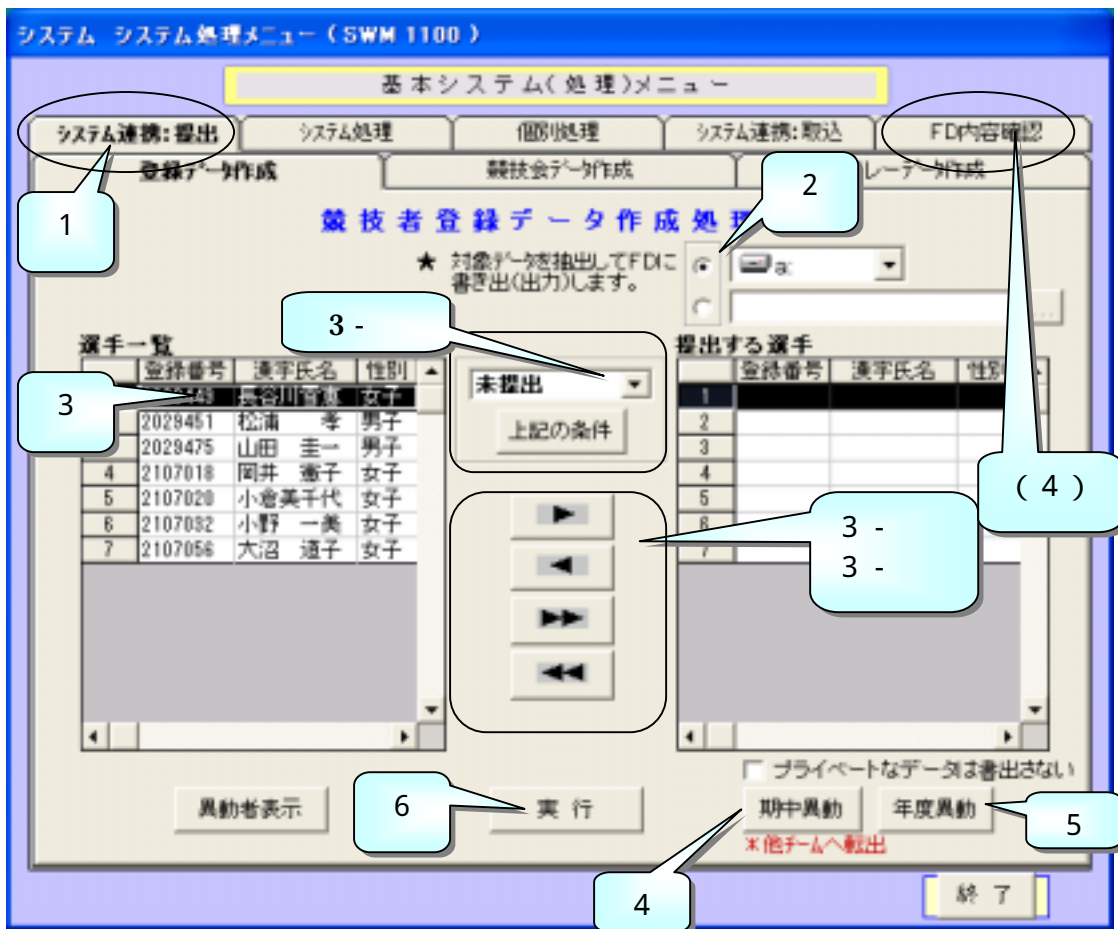
*注意 ボタンを1回押下すると確認のメッセージが出ますが、実行したら再登録はできません。

「年度異動」ボタンを押下すると、他チームへ年度の異動登録提出用データがFD内に出力されます。(中学 高校、高校 大学、チーム チームなどに使用)

*注意 ボタンを1回押下すると確認のメッセージが出ますが、実行したら再登録はできません。

実行ボタンを押下すると、競技者登録提出用データがFD内に出力されます。

(ファイル名): Teamdt.csv ... 登録団体情報
Swmmerdt.csv ... 登録競技者情報



(4) 提出用FD内のデータ確認

手順6で作成したFDをFDドライブに挿入し、「実行」ボタンを押下します。同一画面内で、「FD内容確認」タブを選択し、更にその中から「競技者登録」タブを選択します。「実行」ボタンを押下すると、FD内のデータを読み込み、登録者件数を画面に表示します。または、「印刷」ボタンによって帳票を出力し、競技者登録提出用データ内容を確認してください。（登録者数、競技者氏名、生年月日、性別等）

提出内容に誤りがないことが確認できましたら、競技者登録申請書および提出用データ(FD)を加盟団体宛てに送付します。

(5) その他 留意事項

大会エントリーが近い場合など・・・

タグの中の「競技者記録情報」にエントリータイムなどを入力しておくことでエントリーの際非常に便利です。登録と同時に大会エントリーがある場合は入力しておきましょう。

3. 競技会エントリー

3.1 競技エントリーの前提条件

- (1) 団体登録が入力済みであること。
- (2) 競技者登録が入力済みであること。
- (3) 競技会(大会)・設定がされていること。

登録費等・設定 (SWM 3000)

SWMSYS/Win 登録費等・設定

競技者登録関連

団体登録費 : 円 幼小 : 0 円 大学 : 0 円
 中学 : 0 円 一般 : 0 円
 高校 : 0 円 高専 : 0 円

競技会(大会)関連

大会コード : 00000000 7桁の数字 エントリー制限 : 2 (Max 9)
 種別 : 長水路 短水路 エントリー金額 : 0 円 (団体参加費)
 0 円 (個人参加費)
 0 円 (リレー参加費)

使用エントリーTIME選択
 エントリータイム 長水路タイム 短水路タイム

電卓 登録設定 終了

上記の条件をクリアしてください。そうしないとエントリーできません。

3.2 エントリー方法

エントリーの方法には二つの方法があります。
その方法は下の通りです。

- (1) 基本エントリー方法
下の説明のように順序よく一人ずつ登録していきます。
- (2) 簡易エントリー方法
種目、距離ごとに参加者をエントリーします。

ここでは、開催される競技会(大会)に対してエントリーデータの作成方法を記述してあります、登録団体に所属する競技者が一括して(個別にも可能)競技会へ参加するための参加データの作成を行う処理です。

エントリーデータ作成には、事前にシステムに競技者の情報が入力されていることが前提で、その競技者情報に対して競技会エントリーを行います。

エントリーされた情報は、システムで競技会用データに変換されてFD(フロッピーディスク)に書き出(出力)されます。これが大会参加データです。

Windows版SWMSYSでは、競技者に対して事前に「エントリータイム」、「長水路タイム」、「短水路タイム」の3種類を入力しておくことができます。この記録をエントリー処理の際に選択して、大会参加時のエントリー記録として使用することができます。

(1) 競技会エントリー処理

SWMSYS/Winでは、競技会エントリー方法は大きく2種類あり利用者側で任意に選択(使いやすさを選ぶ)して操作して下さい。

競技者情報への付加情報として、記録を事前に登録しておくことができます。エントリー操作では、事前に入力設定した記録を選択してエントリーの記録に使うことができます。

SWMSYS/Win版では、競技会エントリーの操作として2種類のエントリー機能が提供されています。下記の、 の種類がエントリー機能として提供されています。

基本エントリー方法(競技者選択&エントリー)

エントリーの対象とする競技者を選択した後に参加する競技種目にチェックをして参加指示を行います。

チェックされた種目が競技会の参加対象として扱われます。

エントリー記録の入力は任意に行えますので、競技会に対して入力を行うか否かは参加チーム毎に指定して下さい。(システムでは記録入力のチェックは行わない)

簡易エントリー方法(種目選択&参加競技者:拡張機能)

この機能は、Windows版から提供されました。

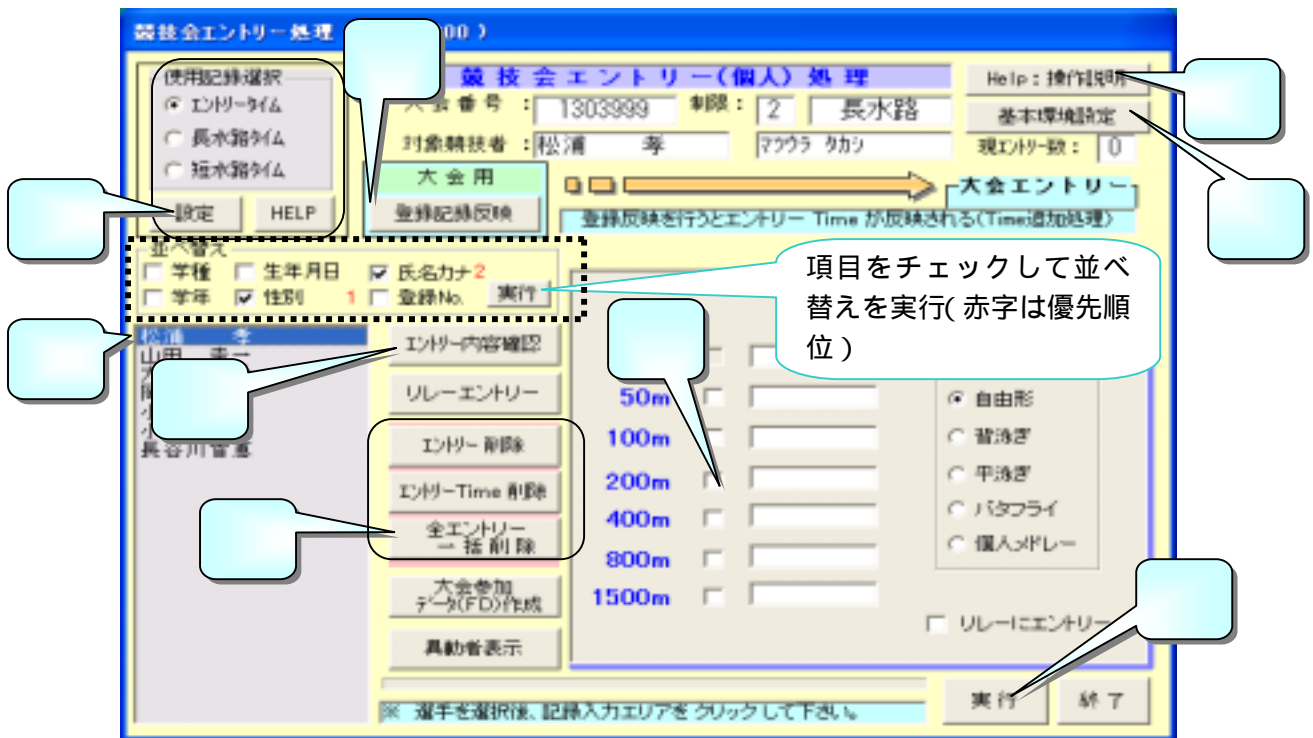
操作の規準は、参加する種目をまず確定します。確定された参加種目に対して参加する競技者を選択して行きます。エントリーは選択された競技者に対して行われます。

但し、このエントリー機能の場合は、エントリー記録の入力がありません。

システムは、エントリー無しの競技会エントリーデータとして扱う。

(2)基本エントリー操作方法手順

[基本機能]のメニューから「競技会エントリー」ボタンを押し、競技会エントリー処理(SWM1200)画面を表示します。または「拡張機能」の「競技会エントリー」からでもジャンプします。



画面右上の HELP:操作説明ボタンを押下し、入力手順を確認してください。

大会コード、プール種別、エントリー制限、大会エントリー金額等の設定を行っていない場合は、
先ず「登録費等・設定 (SWM3000)」画面で上記設定を行ってください。

該当大会にエントリーする競技者を選択します。

エントリーに使用する記録を選択し、設定を行います。

設定ボタン右横の HELP ボタンを押下すると詳細説明が表示されますので参照してください。
(使用記録とは、競技者情報登録画面の記録情報タブ内に設定した記録のことを指します。)

登録記録反映ボタン押下により、選択されている競技者のエントリータイムとして反映を行います。

選択されている競技者に対しエントリーを行います。画面右下でエントリーする種目を選択し、
距離の右横の を押下(クリック)することによりチェック(レ点)を付けます。

(このレ点が付いた種目・距離が、エントリー対象の種目となります。)

種目選択時には、エントリー制限数を超えて選択をしても、レ点が付加されますが、実行(登録)
ボタン押下時にチェックを行い、制限数を超えている場合はエラーを表示します。

エントリー内容確認ボタンを押下し、選択されている競技者に対するエントリー内容を確認して下さい。

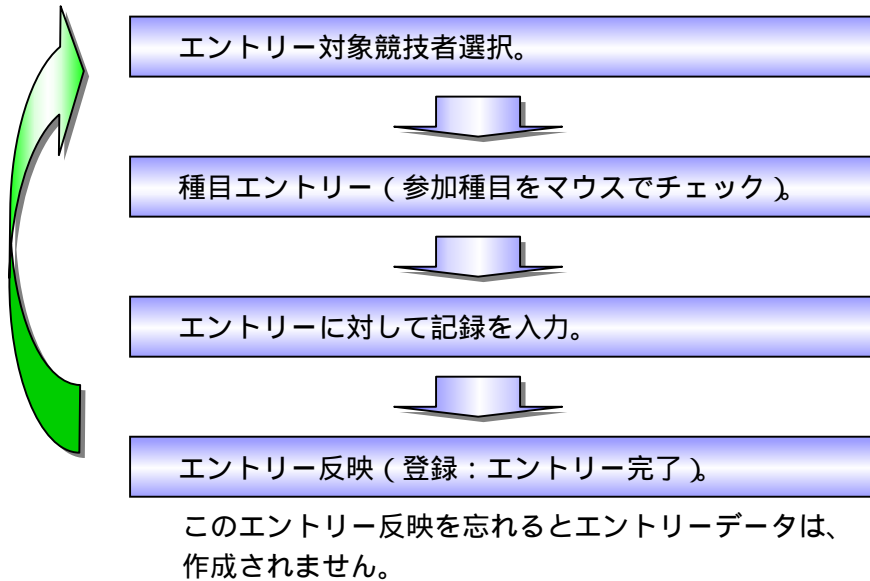
エントリー内容を確認後、実行ボタンを押下し、大会エントリーの確定(登録)を行います。

実行(登録)ボタンの押下は、競技者毎に行う必要がありますのでご注意ください。

登録を行わず、次の競技者を選択すると、入力したデータは全てキャンセルされます!

必要があれば、「エントリー削除」、「エントリーTime 削除」、「全エントリー一括削除」機能を使用
し、データの削除を行ってください。(手順1のHELP内に詳細の説明が記述されています。)

以降 3～8 の操作を繰り返し競技者毎に行います。



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

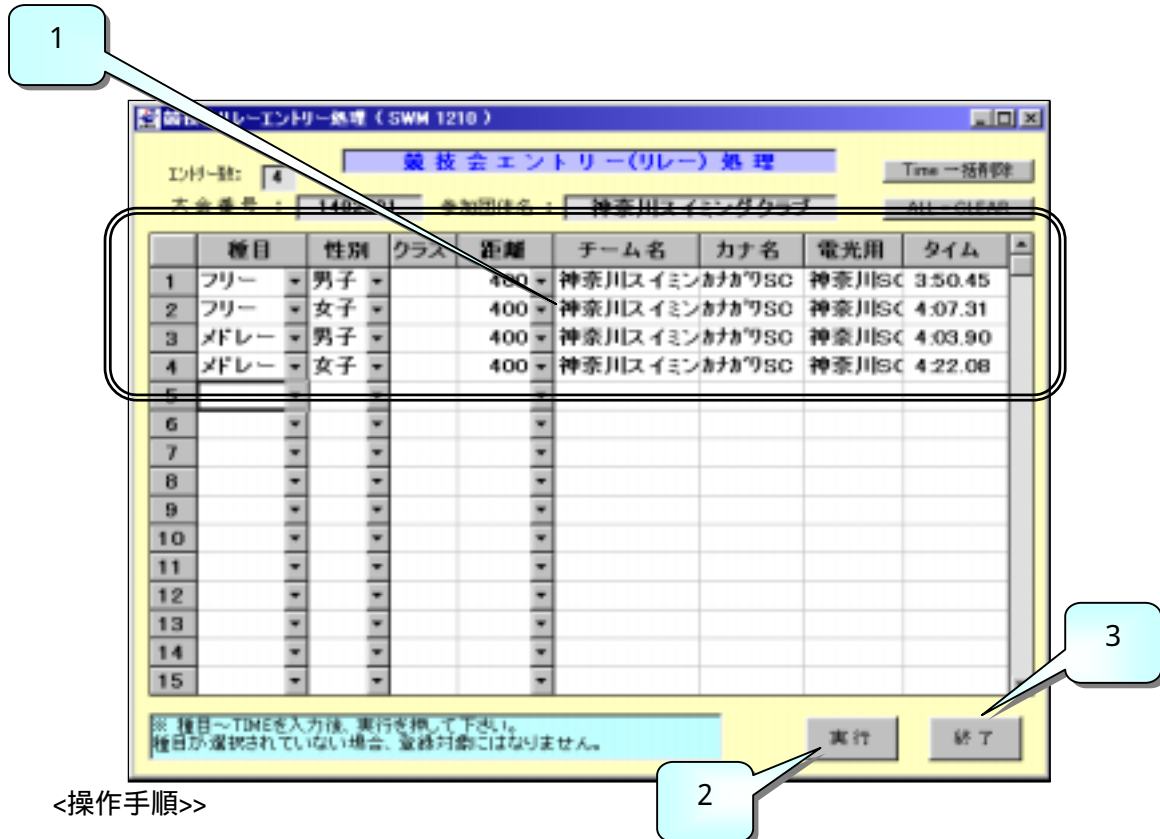
.....

.....

.....

(3)リレーエントリー操作手順

競技会エントリー処理(SWM1200)画面中央部の「リレーエントリー」ボタンを押下し、「競技会リレーエントリー処理(SWM1210)」画面を表示します。



<操作手順>>

- 種目、性別、クラス、距離、(エントリー)タイムを入力します。
 - 種目、性別、距離は、各項目右横の をクリックすると入力可能な値がプルダウン表示されますので、その中から選択してください。
 - クラス、タイムについては、キーボードから入力を行い、最後に Enter キーを押してください。リレーのエントリーは種目・距離別、性別、クラス別の全てを含め99までエントリーが可能です。

タイムの入力方法は、下記の例を参照してください。(タイムの入力方法はシステム内全て共通です。 競技会エントリー(個人)画面、 競技者登録・記録情報タブ 等)

【タイムの入力方法】

例)	35 秒 27	の場合、	(入力) : 35.27	(表示) : 35.27
	57 秒 00	の場合、	(入力) : 57.	(表示) : 57.00
	1 分 07 秒 09	の場合、	(入力) : 107.09	(表示) : 1:07.09
	2 分 12 秒 80	の場合、	(入力) : 212.8	(表示) : 2:12.80
	9 秒 00	の場合、	(入力) : 09.	(表示) : 9.00

- エントリー内容を確認後、実行ボタンを押下し、大会エントリーの確定(登録)を行います。
- 終了ボタンでリレーエントリー画面を終了させます。
登録(実行)を行わず、終了ボタンを押下すると、入力したデータは全てキャンセルされます！

(4) 簡易エントリー方法

これは「拡張機能」の「種目別競技者エントリー」です。

拡張機能 (SWM 4000)

SWMSYS / Win 拡張機能

目的別処理メニュー

種目別競技者選択エントリー

※ 性別、種目、距離を選択して現在のエントリー状況を確認して下さい。

実行

エントリー状況

性別

男子

女子

男女無関係

種目

自由形

背泳ぎ

平泳ぎ

バタフライ

個人メドレー

リレー

登録競技者

選択競技者

距離

25m

50m

100m

200m

400m

800m

1500m

エントリー人数

終了

種目別で選手のエントリーが簡易にできます。各必要事項をチェックするとそれに応じてエントリーができるものです。チームの選手登録数が多い場合簡単です。

注意事項

**これだけだとエントリータイムが生きてきません。
必ず採用するエントリータイムを選択して使用
してください。**

3.3 提出データ作成手順

エントリー設定が終わったら競技会(大会)参加データの作成を行います。この処理はシステムで参加指示した競技者に対して大会参加データとして作成(FD化)する処理で、ここで作成されたFDを参加データとして、競技会開催者へ提出します。

下記に競技会提出データ作成の操作方法を記述します。

(1) エントリーデータ作成操作手順

エントリー画面よりエントリーされたデータをFDに書き込みます。

操作手順としては、セットされたFDのドライブを指定して実行キーを押すことでエントリーデータの作成が行われます。

エントリー件数

大会エントリーデータ作成時にカウントされたエントリーデータ件数を画面から確認できます。それぞれ、男子、女子、参加合計件数でカウントされますので、確認する箇所のタブ部分をマウスでクリックして下さい。

競技会(大会)データ作成画面

システム システム処理メニュー (SWM 1100)

基本システム(処理)メニュー

システム連携: 提出 システム処理 個別処理 システム連携: 取込 FD内容確認

登録データ作成 **競技会データ作成** リレーデータ作成

競技会(大会)参加個人データ作成処理

競技者登録件数 件

★ 対象データを抽出してFDに書き出(出力)します。

自由形 背泳ぎ 平泳ぎ バタフライ 個人メドレー リレー

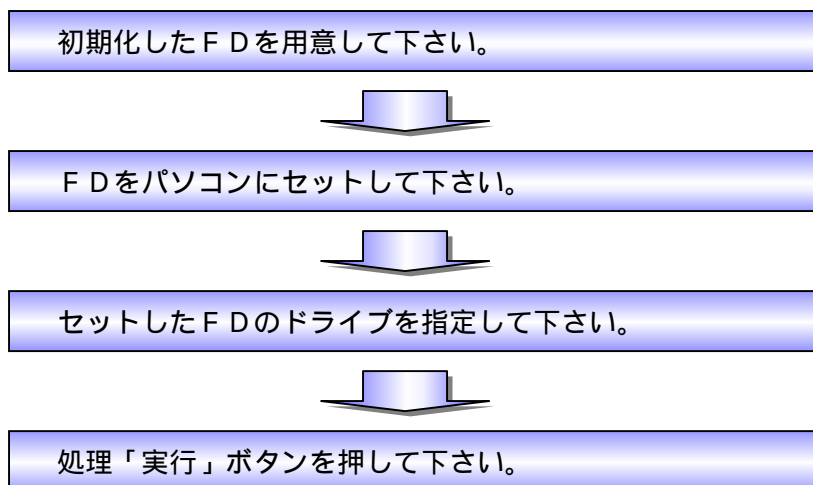
	男子参加数	女子参加数	合計参加数
25m	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
50m	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
100m	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
200m	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
400m	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
800m	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
1500m	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

書き出すディレクトリーを指定して実行を押してください

実行

終了

競技会(大会)データ作成操作手順



FD作成処理は完了です。

SWMSYS / Win版には、この作成されたFDの内容を確認できる機能が提供されていますので、FD作成後はデータの内容を確認して下さい。

(2) 競技会エントリーデータ内容確認

機能は、FD内容確認機能の「申し込みTime一覧」、「エントリーデータ確認」画面を使うことで、作成されたFDの内容を確認することができます。

基本操作は、作成済のFDをセットして、実行ボタンを押すことで、画面にエントリーの内容が表示されます。

申し込みTime一覧機能

この画面は、選択された競技者の種目毎にエントリー & エントリータイムが画面から確認できます。左部にあるリストボックスから内容を確認したい競技者をクリック(選択)することで、画面にエントリーの内容をFDから直接読み込み表示します。

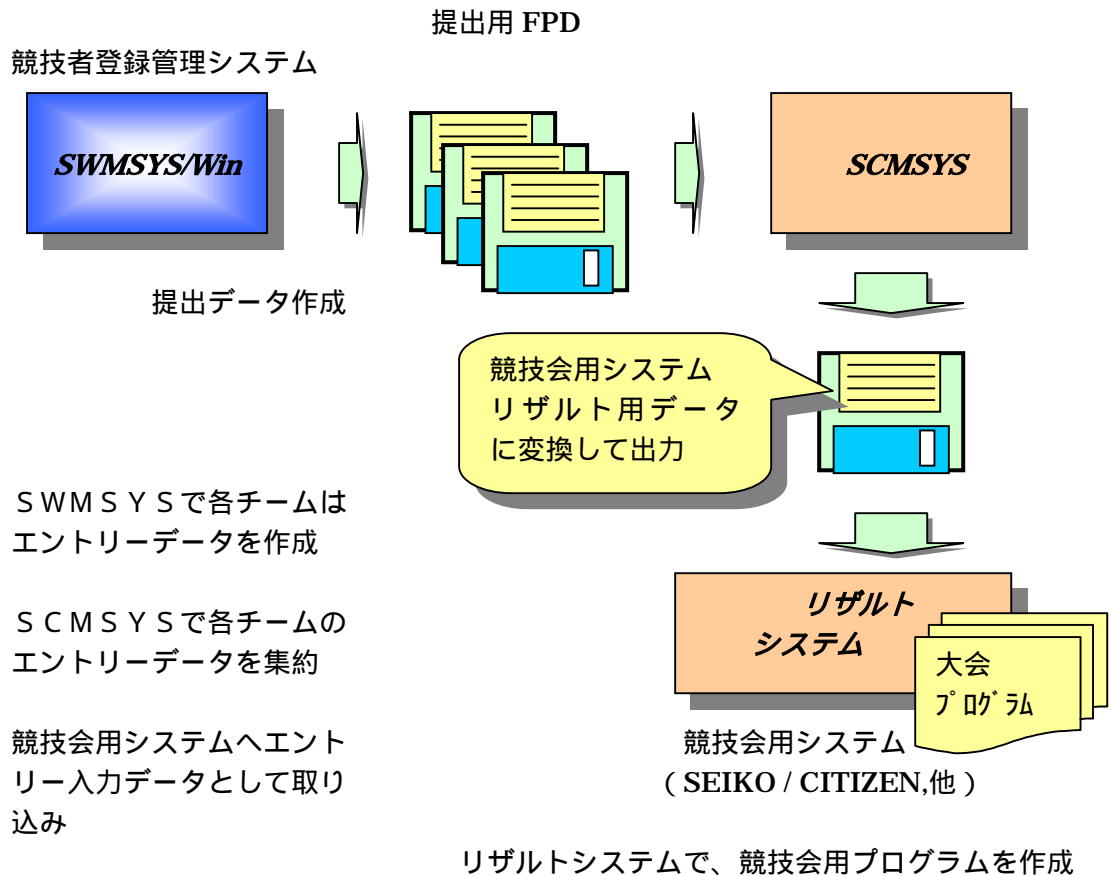
エントリーデータ確認

Time一覧と大きく違うのは、エントリーの内容を確認するのみで、エントリータイムを確認することはできません。

機能としては、エントリーされた競技者を画面一覧で種目別に確認できます。

(6) 競技会エントリーデータのシステム間関連図

[データ連携概要図]

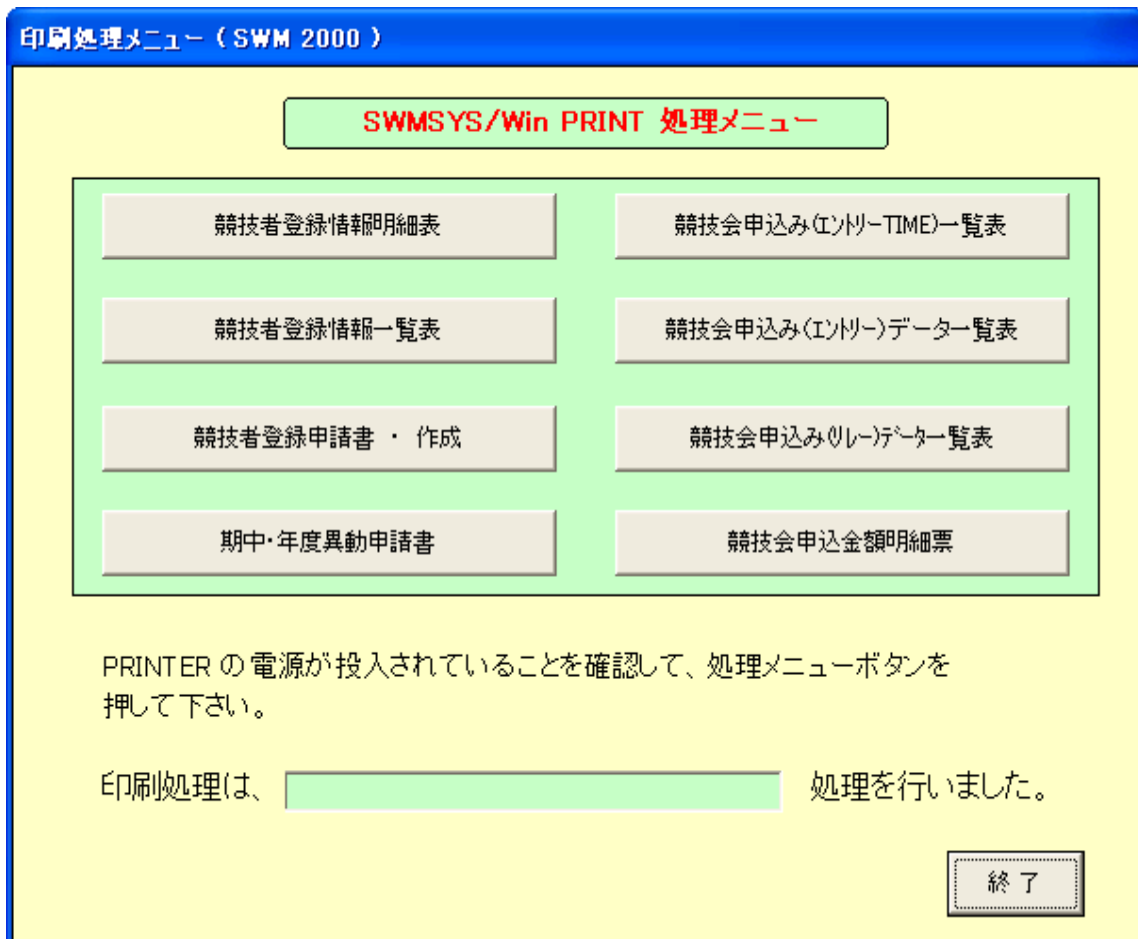


エントリーデータの作成が完了したら、参加提出データ(FD)の内容確認を行って下さい。
FDの内容はFD内容照会機能を使うことで、エントリーの内容を画面で確認することができます。
確認後、エントリー内容に誤りがなければ競技会開催者へ提出して下さい。

4. 印刷処理機能

初画面のメニューにあるボタンを押すと各メニューのタイトル処理の内容がプリンターに出力されます。

操作は、プリンターの電源が投入されていることを確認して、メニューボタンを押すだけで印刷処理は開始します。



(1) 印刷形式

基本となる印刷形式は、MS - DOSフォーマットを継承するものです。
印刷フォーマットは添付したサンプル帳票をご参照下さい。

(2) 印刷環境

印刷環境としては、Windows印刷可能なプリンター環境であれば、印刷処理を行うことができます。

これまでのMS - DOSでは印刷できなかったWindows専用プリンターでも印刷が可能になりました。(パソコンの環境に依存)

(3) 種類 & 印刷概要

競技者登録情報明細表

システムSWMSYS/Winに登録された競技者の情報を詳細に印刷します。

競技者登録情報一覧表

システムSWMSYS/Winに登録された競技者の情報を一覧で印刷します。

競技者登録申請書・作成

対象となる競技者情報の内容を確認して、登録金額を計算票として印刷します。

個人情報管理・詳細帳票作成

競技者個人(一人)毎に1ページで、登録情報の内容を印刷します。

競技者申込み(エントリーTIME)一覧表

競技会(大会)にエントリーされた情報をもとにエントリーTimeと含めて、印刷を行います。

また、エントリーの最終ページには、エントリー内容の集計表が印刷されます。

競技者申込み(エントリー)データ一覧表

エントリーされた情報を一覧表に印刷します。

また、エントリーの最終ページには、エントリー内容の集計表が印刷されます。

競技会申込金額明細票 * (記入部分有り)

競技会に申込み・団体情報(所在地、連絡者等)・競技会情報(申込金等)

・申込み状況(人数、種目数)・申込み金額(金額詳細等)

注意：プリンターの印字速度

印刷処理される際に、印刷に時間を要することがありますが、印刷処理の速度は、ハードの性能(一般的：安価なプリンターは低速)によるものですので、印刷が遅い場合、プリンターの性能を確認の上、お問い合わせ下さい。

5. 年度異動処理

ここでは、年度途中の選手異動処理について記述してあります。
年度途中の選手異動は、年度内中に競技者が他の登録団体に異動した場合に行う操作です。

(1) 画面操作

基本的には、競技者データに年度途中の選手データであることを入力して、(財)日本水泳連盟にデータを提出(この場合通知)することで、対象の競技者が団体(チーム)を異動する際に登録情報変更処理を行う(通知)ものです。

(2) データの操作(異動元と異動先のデータ)

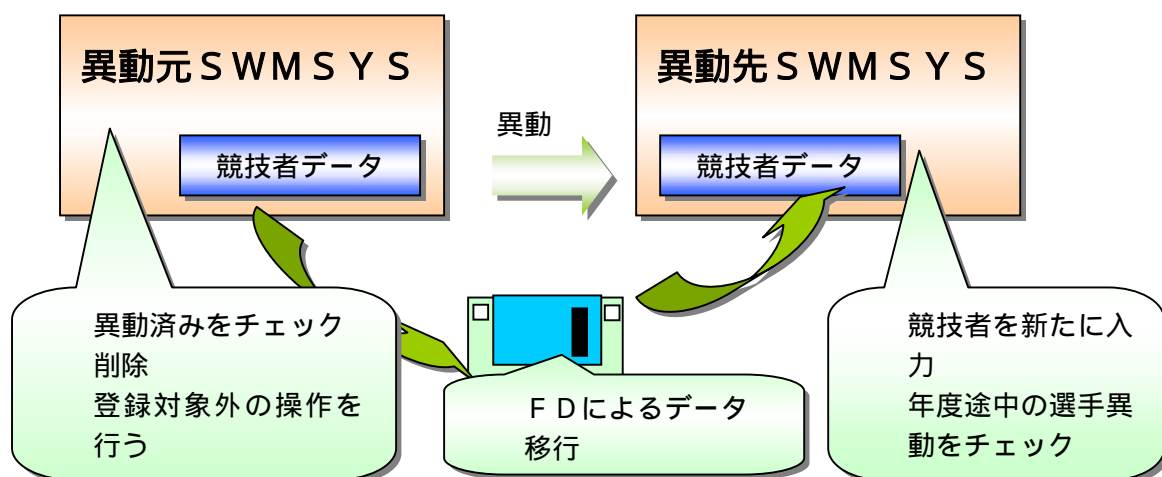
異動元と異動先のデータの取り扱いは、それぞれ下記の通り扱う必要があります。

異動元

SWMSYSに既に登録されている競技者登録データを一旦検索します。その競技者データに対して、削除、登録対象外としてデータの変更を行います。これにより、異動元からの競技者登録が行われなくなります。
(もしくはP.33の期中異動FD作成で対応)

異動先

異動先のSWMSYSでは、新規に競技者の情報を入力します。この時に項目にある年度途中の選手異動にチェックを行います。年度途中の選手異動にチェックを行うことで、システムは競技者登録情報として扱いますが、登録費の計算対象外としてデータを取り扱います。
(もしくはP.33の期中異動FDを取込む)



6. 日本水泳連盟 7 桁 I D 登録番号の取り込み操作手順

日本水泳連盟に登録された競技者に対して「漢字氏名」「性別」「生年月日」の三つのキーをもとに 7 桁 I D コードを発行します。日本水泳連盟から 7 桁 I D 登録番号の付与があり各加盟団体から番号が付与された情報 F D が戻ってきます。

この 7 桁 I D 番号は、記録データベースを検索するときの番号となります。記録データベースには、競技者登録した競技者の記録が全て蓄積されています。

その番号取り込みについて説明します。



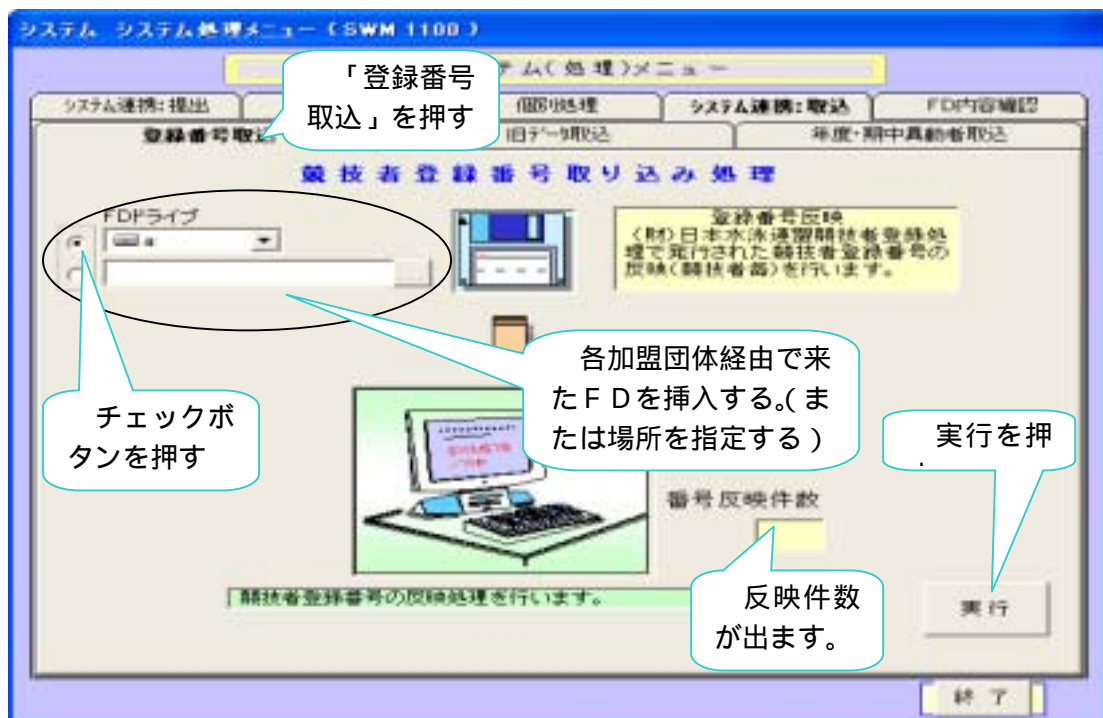
(1) システム処理ボタンを押す。



(2) システム連携：取込みタブを選択する。



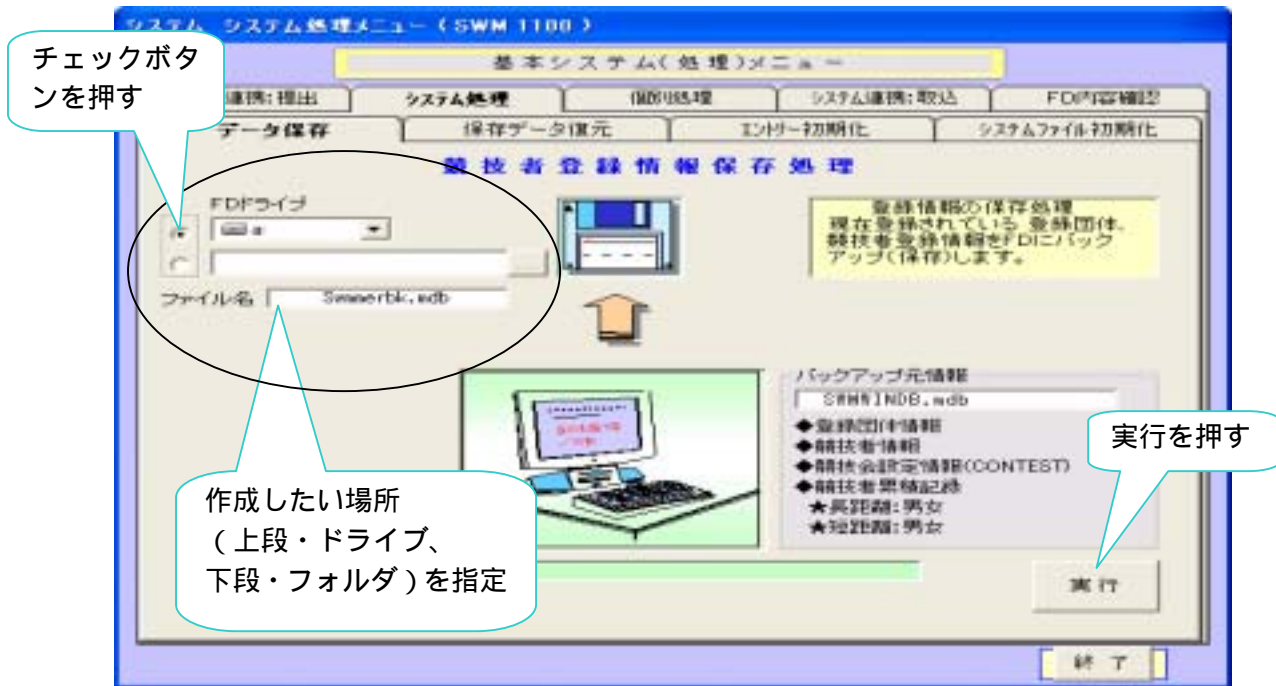
(3) F D (その他) 内の番号を取り込むために F D ドライブを指定する。



以上の操作で番号が反映されます。

7. バックアップ

システム処理メニュー（SWM1100）のデータ保存より



今まで保管されていた情報をFD等に保存します。

8. 復元

システム処理メニュー（SWM1100）の保存データ復元より



FD等に保管した情報を復元します。



競技者登録管理システム：SWMSYS/Win

● 発行日
初版 平成 14 年 6 月 2 日
二版 平成 14 年 12 月 20 日
三版 平成 15 年 7 月 1 日

● 発行責任者
情報システム委員会
須永 孝

● 編集責任者
蠣原 和隆
細川 英章
松浦 孝
長谷川雪恵
三浦 賢司（福島県）

● 発行所
（財）日本水泳連盟
情報システム委員会

〒150-8050
東京都渋谷区神南 1 - 1 - 1
岸記念体育会館内

03-3481-2306